

Electone
ELX-1m
OWNER'S MANUAL
活用ガイド

Electone

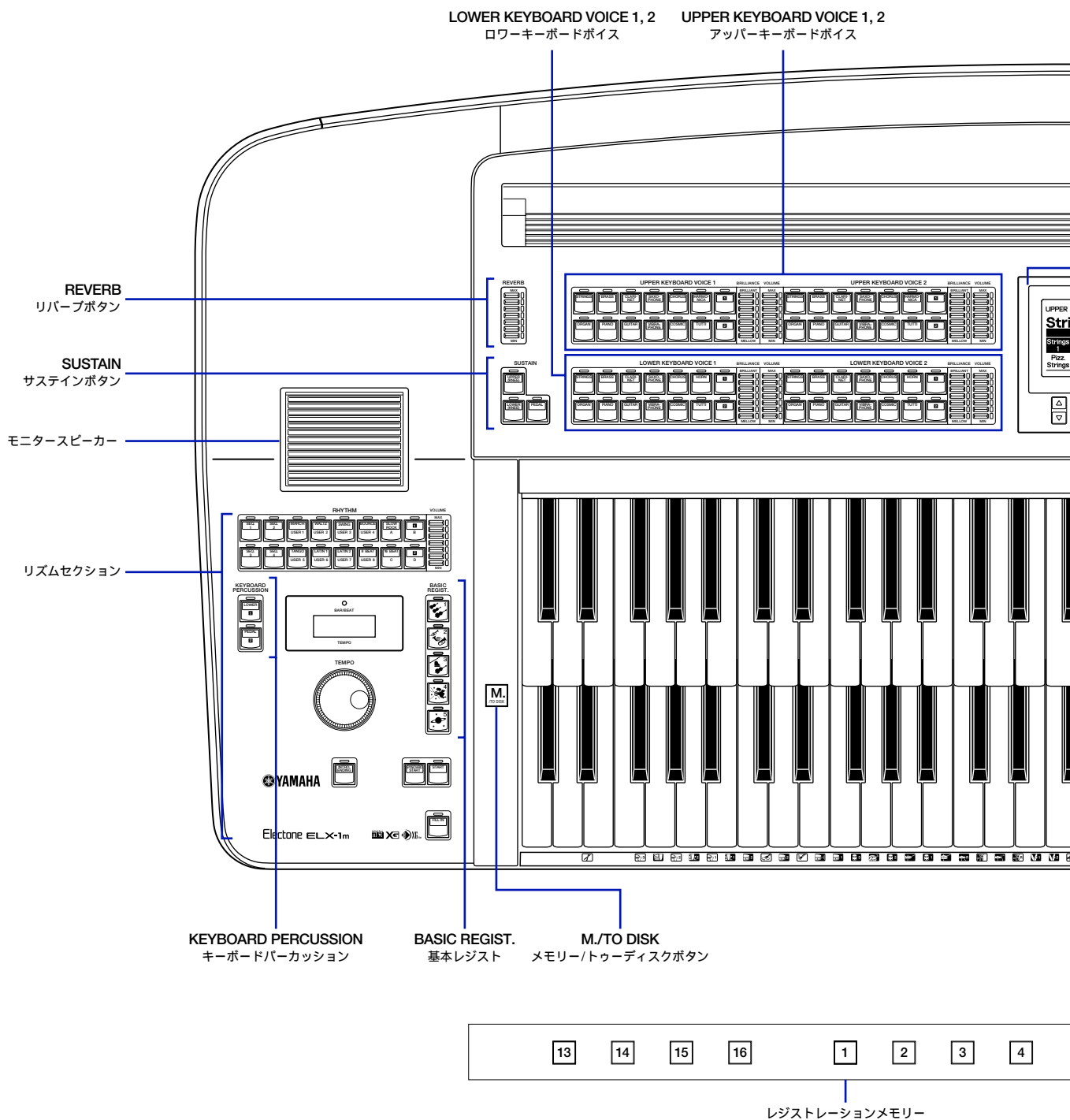
はじめに

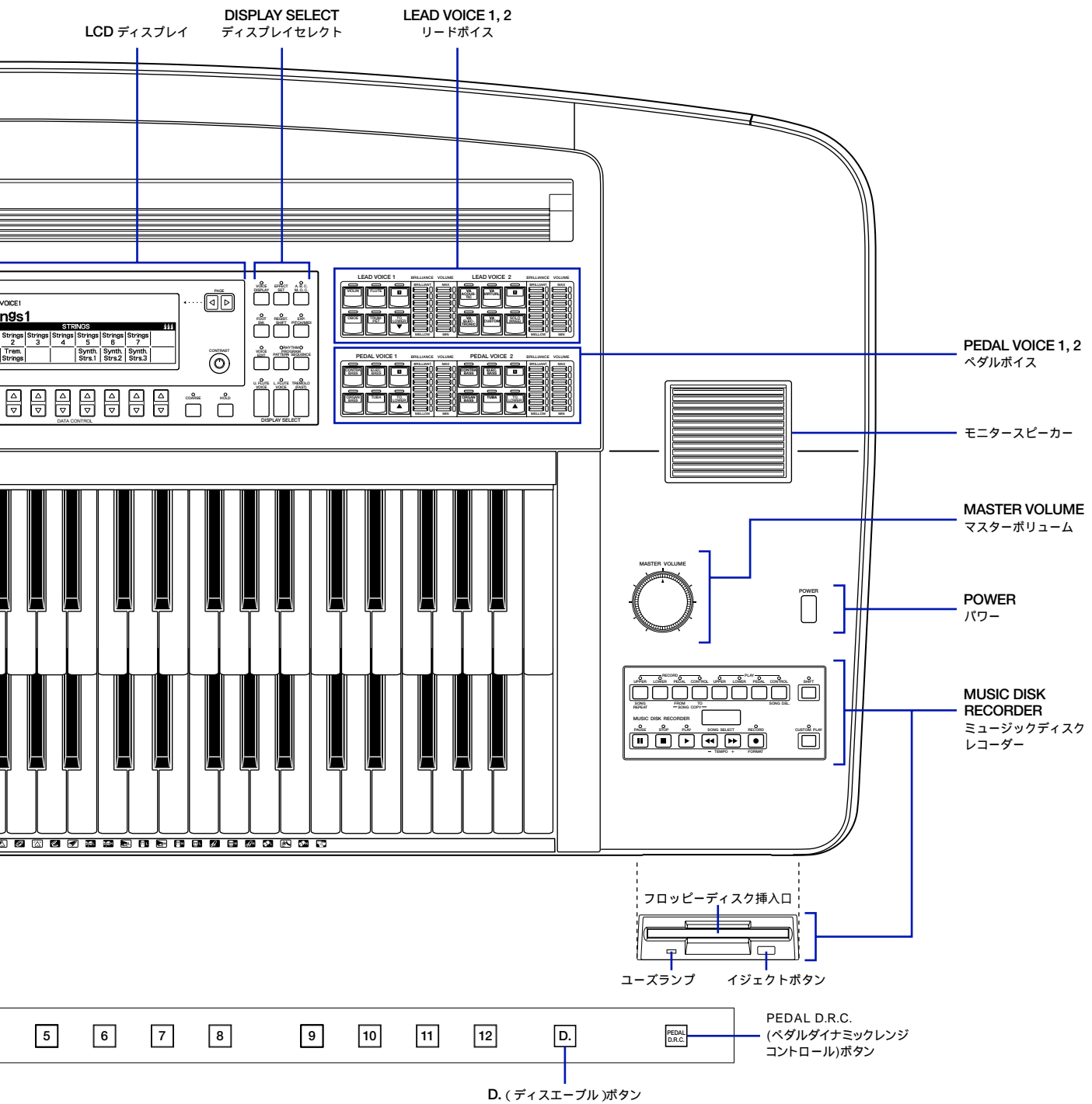
ELX-1mは、EL-900の音色、機能を更にグレードアップし、コンサートモデルとして充実させた機種です。このガイドブックでは、EL-900との相違点を中心に新しい機能やその使い方をご紹介します。

目次

操作パネル	4
Chapter 1 新音色	6
STRINGSページ	6
BRASSページ	6
TRUMPETページ	7
TUBAページ	7
FLUTEページ	8
OBOEページ	8
CLARINETページ	9
SAXOPHONEページ	10
TUTTIページ	10
CHORUSページ	11
PIANOページ	12
ELECTRIC BASSページ	12
新音色一覧表	13
音色体系表(音色ツリー)	14
Chapter 2 レジストレーション メニュー ディスク	16
Chapter 3 ボイスディスプレイページの追加	21
ボイスディスプレイページ1	21
ボイスディスプレイページ2	21
ボイスディスプレイページ3	24
操作の流れ	25
UNIFORM(ユニフォーム)/REGISTRATION SELECT(レジストレーションセレクト)	25
いろいろな変更画面	29
Chapter 4 ペダルポリモード(ペダル複音発音)	31
Chapter 5 リードプライオリティ	32
Chapter 6 マイクロチューニング・トランスポーズ・チューン	34
マイクロチューニング	34
トランスポーズ	37
チューン	38
Chapter 7 VAボイスエディット	39
ボイスディスク	42
Chapter 8 レジストシフト ネクストソング+ (プラス)	43
Chapter 9 ペダルダイナミックレンジコントロール(PEDAL D.R.C.) ボタン	44
Chapter 10 MDRコピー機能の充実	45
ディスクコピー2	45
エラー表示	46
Chapter 11 ミディアウトフィルター(MIDI OUTフィルター)	48
付録	49
各ボイスのイメージ一覧	49

操作パネル





Chapter 1

新音色

このELX-1mでは、AWM+FM音色が173音色から196音色にUP!
クラシックからポピュラーまで幅広いジャンルをカバーできる新しい23音色が追加されました。
34のVA音色を含めて全プリセット音色は230音色になったわけです。

それでは、順番にその追加された音色をご紹介します。

STRINGSページ

STRINGS							
Strings 1	Strings 2	Strings 3	Strings 4	Strings 5	Strings 6	Strings 7	Strings 8
Pizz. Strings	Trem. Strings			Synth. Strs.1	Synth. Strs.2	Synth. Strs.3	

● Strings 8(プリセット8')

コンソルディーノ(弱音器を使った)ストリングスです。そっと弾いたストリングスのイメージが再現されます。タッチによる表現がより繊細に反映されます。



音色体系表(音色ツリー)参照(P.14)

ドボルザーク：新世界 第2楽章より

Largo

EL-900で再生するとStrings1で発音します。

BRASSページ

BRASS							
Brass 1	Brass 2	Brass 3	Brass 4	Brass 5			
Synth. Brass1	Synth. Brass2	Synth. Brass3	Synth. Brass4				

● Synth.Brass4(8')

立ちあがりのピッチ感に特徴があるファットなシンセブラスです。

EL-900で再生するとSynth Brass2で発音します。

TRUMPETページ

TRUMPET						
Trum- pet 1	Trum- pet 2	Trum- pet 3	Trum- pet 4	Trum- pet 5	Trum- pet 6	Muted Trp.
Trom- bone1	Trom- bone2	Trom- bone3	Muted Trb.	Flugel Horn		Eupho- nium

● Trombone3(UK16'/LK8')

「ブリッ」とした力強い張りのある音色が特徴的なトロンボーンです。

ワーグナー：ニュルンベルグのマイスタージンガーより：第一幕への前奏曲より

ma molto marcato

mf

EL-900で再生すると、Trombone1として発音します。

TUBAページ

TUBA						
Tuba				Timpani 1	Timpani 2	Timpani Roll



これらの追加音色により、音色の並び位置や既存音色名が変更されていますが、他機種とのデータ互換には問題ありません。

● Timpani 2(8')

柔らかめのマレットで叩いた感じの表現豊かなティンパニです。タッチによる反応がよく、ピアノ(p)からフォルテ(f)まで幅広く強弱を表現することができます。クラシカルな曲には最適です。

ドボルザーク：新世界 第4楽章より

fz

più cresc.

pp

EL-900で再生すると、Timpaniで発音します。

FLUTEページ

FLUTE							
Flute 1	Flute 2	Flute 3	Flute 4	Piccolo		Yokobue	
Recorder	Ocarina	Pan Flute	Shakuhachi	Whistle			

● Flute3(8')

アタックが特徴的なジャズフルートです。速いフレーズと伸ばすフレーズとの両方に対応しているのもポイント。ピブラートは音色に固定されています。



EL-900で再生すると、Flute1で発音します。

● Flute4(8')

深みのあるピブラートが特徴的なクラシカルフルートです。これも、ピブラートが音色に固定されています。

ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲より



EL-900で再生すると、Flute2で発音します。

OBOEページ

OBOE							
Oboe 1	Oboe 2	Oboe 3	Oboe 4	English Horn1	English Horn2		
Bassoon1	Bassoon2	Bassoon3					

● Oboe 3(8')

速いフレーズに合うオーボエ。ピブラートは音色に固定されています。

モーツァルト：OBOE協奏曲より

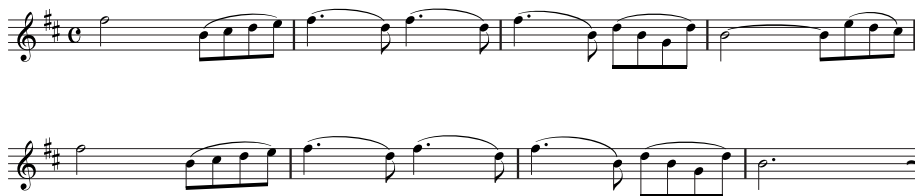


EL-900で再生すると、Oboe1で発音します。

● Oboe 4(8')

クラシック向きの表現豊かなオーボエ。

チャイコフスキー：白鳥の湖より



EL-900で再生すると、Oboe 2で発音します。

● English Horn2(8')

リード感が引き立つ音色のイングリッシュホルン。

ドボルザーク：新世界 第2楽章より



EL-900で再生すると、English Horn 1で発音します。

● Bassoon3(UK16'/LK8')

低音域まで豊かな響きを持つバスーン。

EL-900で再生すると、Bassoon 1で発音します。

CLARINET ページ

CLARINET						
Clari- net 1	Clari- net 2	Clari- net 3		Bass Cla.		
Synth. Cla.1	Synth. Cla.2					

● Clarinet 3(8')

甘い感じの音色で表現豊かなクラリネット。

クラリネットポルカ



EL-900で再生するとClarinet 1が発音します。

SAXOPHONEページ

SAXOPHONE							
Saxo- phone1	Saxo- phone2	Sopra. Sax.	Sax. Ens.1	Sax. Ens.2	Synth. Sax.		
Synth. Lead1	Synth. Lead2	Synth. Lead3	Synth. Lead4	Synth. Lead5	Synth. Lead6	Synth. Lead7	

● Synth. Lead6(8')

立ちあがりのピッチ感に特徴があるコミカルなシンセリードです。

EL-900で再生すると、Synth. Lead 1で発音します。

● Synth. Lead7(8')

シンセベース風な音色のシンセリードです。

EL-900で再生すると、Synth. Lead 1で発音します。

TUTTIページ

TUTTI							
Tutti 1	Tutti 2	Tutti 3	Tutti 4	Tutti 5	Tutti 6	Tutti 7	Tutti 8
Tutti 9	Tutti 10						



Tuttiは色々な音色が混在しています。特にフィートが広い範囲にわたっている場合、音域に注意して使用しましょう。

● Tutti 8(8')

華やかな金管アンサンブル。

ワーグナー：ローエングリーンより



EL-900で再生すると、Tutti 7で発音します。

● Tutti 9(8')

壮大な弦楽アンサンブル。タッチにより表現変化も豊かです。

チャイコフスキー：ロミオとジュリエットより



EL-900で再生すると、Tutti 1で発音します。

● Tutti 10(8')

木管アンサンブル。Tutti 6よりも厚みがあり、他音色と混ぜても存在感があります。

EL-900で再生すると、Tutti 6で発音します。

CHORUSページ

CHORUS							
Chorus 1	Chorus 2	Chorus 3	Chorus 4	Chorus 5	Chorus 6	Chorus 7	Chorus 8
Vocal							

● Chorus 6(8')

チャペル向きの混声合唱。コラールなどゆったりとした清楚なイメージです。

EL-900で再生すると、Chorus 3で発音します。

● Chorus 7(8')

リアルな大合唱。

ベートーベン：交響曲第九番より

Allegro assai vivace(♩=84)

The image shows a musical score for Chorus 7. The first system consists of three staves: a grand staff (treble and bass clefs) and a bass staff. The tempo is marked 'Allegro assai vivace' with a quarter note equal to 84 beats per minute. The second system shows a vocal line on a single staff, with a tilde (~) indicating a long note or breath mark.

EL-900で再生すると、Chorus 3で発音します。

● Chorus 8(8')

ゴスペルクワイヤーをイメージしたポップー系コーラス。

EL-900で再生すると、Chorus 1で発音します。



レジストメニューディスク：ページ1：
Symphonic OrchestraのChoir Tuttiで演奏してみましょう。
レジストレーションディスクについては、
P.16をご参照ください。

PIANOページ

PIANO							
Piano 1	Piano 2	Honky Tonk		Elec. Piano1	Elec. Piano2	Elec. Piano3	Elec. Piano4
Harpsi-chord		Clavi.	Clavi-chord				

● Elec. Piano4(8')

華やかで芯のある響きのエレクトリックピアノ。

EL-900で再生すると、Elec. Piano1で発音します。

ELECTRIC BASSページ

ELECTRIC BASS							
Elec. Bass 1	Elec. Bass 2	Elec. Bass 3	Elec. Bass 4	Elec. Bass 5			
Synth. Bass 1	Synth. Bass 2	Synth. Bass 3	Synth. Bass 4	Synth. Bass 5			

● Elec. Bass 5(16')

表現力豊かなエレクトリックベース。

EL-900で再生すると、Elec. Bass 2で発音します。

● Synth. Bass 4(16')

レゾナンスのきいたシンセベース。

EL-900で再生すると、Synth. Bass 3で発音します。

● Synth. Bass 5(16')

長い音符の変化を楽しみながら演奏するのに向くシンセベース。

EL-900で再生すると、Synth. Bass 1で発音します。

ご紹介した新音色をまとめてみました。

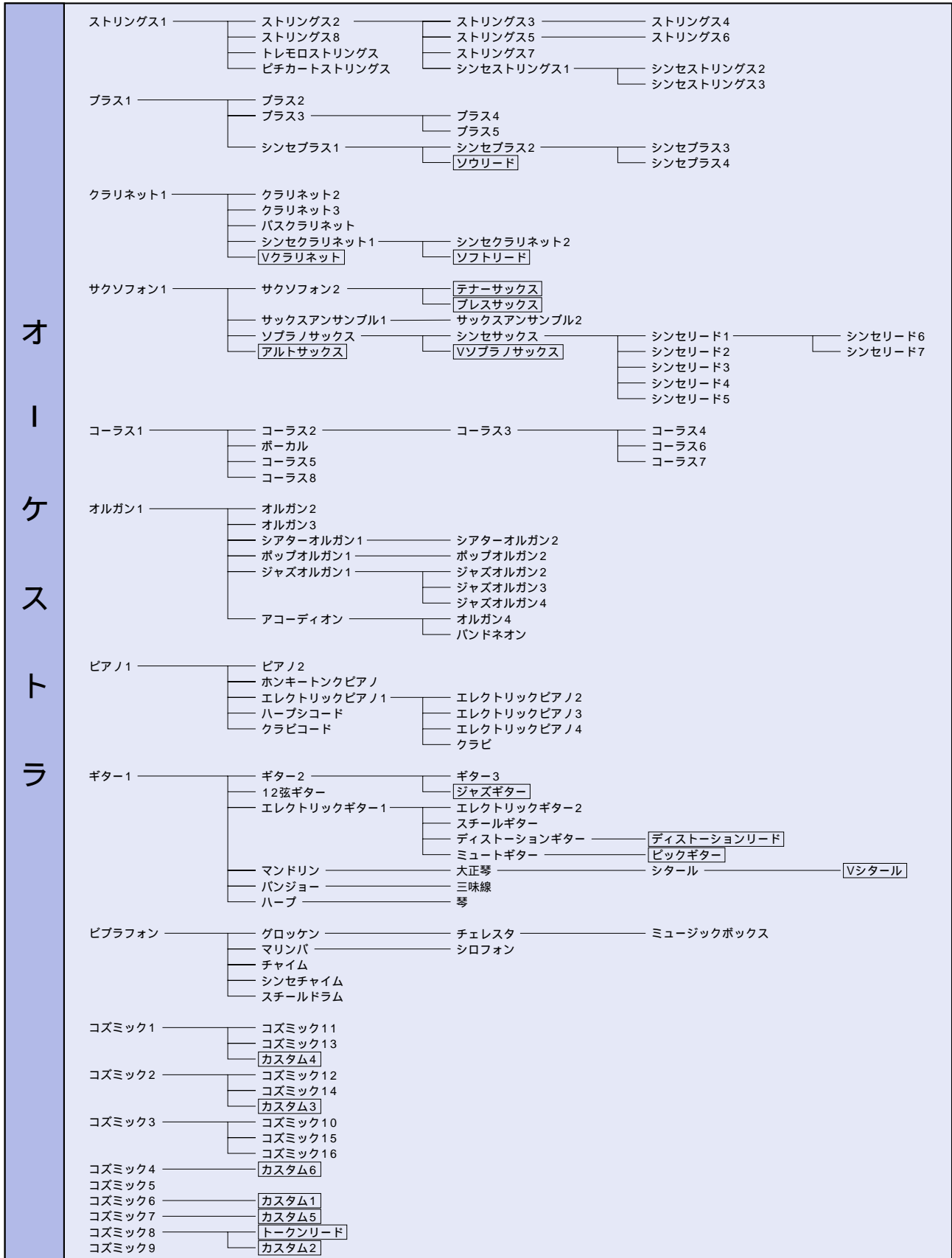
新音色一覧表

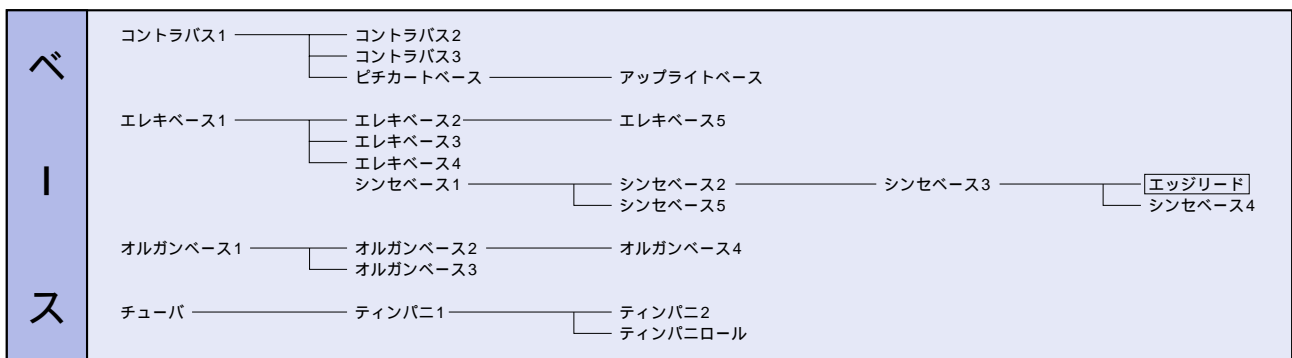
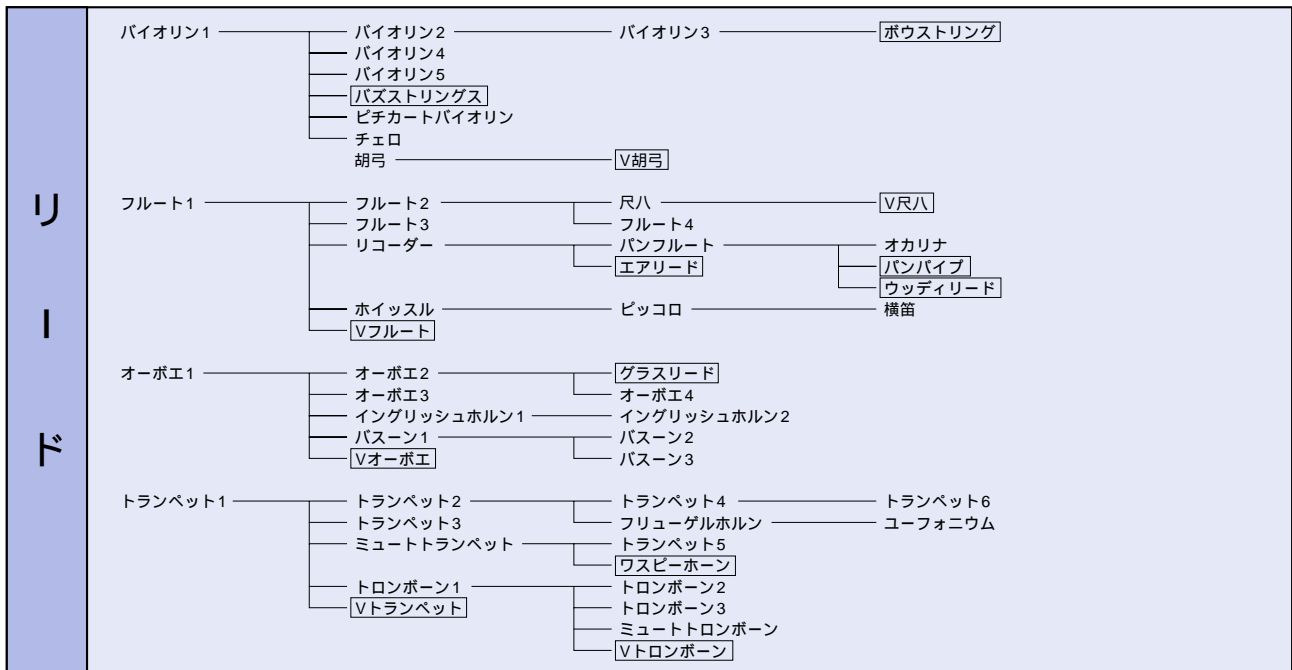
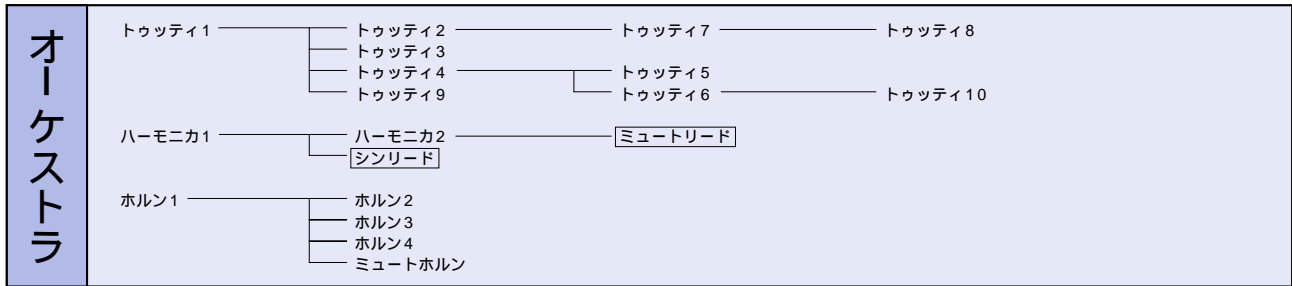
Page	Voice Name	Feet	Effect	Comment
STRINGS	Strings 8	8'	-	柔らかい音色で和音も美しいコンソルディーノ スtrings
BRASS	Synth. Brass 4	8'	-	立ち上がりのピッチ感が特徴のファットなシンセブラス。
TRUMPET	Trombone 3	U16'/L8'	-	張りのある音色が特徴のトロンボーン。
TUBA	Timpani 2	8'	-	柔らかめのマレットで表現豊かなティンパニ。
FLUTE	Flute 3	8'	-	アタックが特徴のジャズ フルート。(ピブラートは音色に固定)
	Flute 4	8'	-	深みのあるピブラートが特徴のクラシカル フルート。(ピブラートは音色に固定)
OBOE	Oboe 3	8'	-	速いフレーズに合うオーボエ。(ピブラートは音色に固定)
	Oboe 4	8'	-	クラシック向きの表現豊かなオーボエ。
	English Horn 2	8'	-	リード感が引き立つ音色のイングリッシュホルン。
	Bassoon 3	U16'/L8'	-	低音域まで豊かな響きのバスーン。
CLARINET	Clarinet 3	8'	-	甘い感じの音色で表現豊かなクラリネット。
SAXOPHONE	Synth. Lead 6	8'	-	立ち上がりのピッチに特徴があるコミカルなシンセリード。
	Synth. Lead 7	8'	-	シンセベース風な音色のシンセリード。
TUTTI	Tutti 8	8'	-	華やかな金管アンサンブル。
	Tutti 9	8'	-	壮大な弦楽アンサンブル。
	Tutti 10	8'	-	木管アンサンブル。
CHORUS	Chorus 6	8'	-	チャペル向きの混声合唱。
	Chorus 7	8'	-	リアルな大合唱。
	Chorus 8	8'	-	ゴスペル クワイア。
PIANO	Elec. Piano 4	8'	-	華やかで芯のある響きのエレピ。
ELECTRIC BASS	Elec. Bass 5	16'	-	表現力豊かなエレクトリックベース。
	Synth. Bass 4	16'	-	レゾナンスの効いたシンセベース。
	Synth. Bass 5	16'	-	長い音符の変化を楽しみながら演奏するのに向くシンセベース。

音色体系表(音色ツリー)

ELX-1mの音色は下記のように分類されます。

*□はVA音源を使用した音色です。





アッパー&ロワーフルートボイスのプリセット音色

ジャズオルガン1	ジャズオルガン2	ジャズオルガン3	ジャズオルガン4
ポップオルガン1	ポップオルガン2	ポップオルガン3	ポップオルガン4

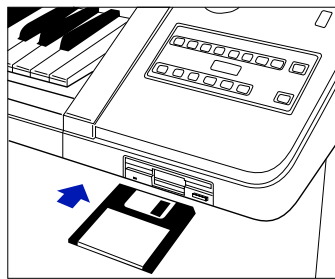
Chapter 2

レジストレーション メニュー ディスク

EL-900の内容から更に充実したメニューで、音のコンビネーションも大変豊かになりました。
5ページものジャンル分けされた豊富なデータが収録されています。

操作法

1. 同梱されている「レジストメニューディスク」を挿入し、



2. ページボタンでページを進めます。

REGIST DISK								PAGE: 1 · 2 · 3 · 4 · 5
Symphonic Orchestra								PAGE ◀ ▶
Maest oso	Grand Orch.	Full St.	Str. Ens.	LowSt &Harp	Pizz. Ens.	Class icEns	Woods Quart	
Flute &Harp	Fanfa re	Brass Ens.	PfCli max	Baroq ue	VI, Ro coco	Str. Quart	Choir Tutti	

3. データコントロールボタン▲ ▼ でレジストレーションを選びます。

REGIST DISK								PAGE: 1 · 2 · 3 · 4 · 5
Twilight Illumination ~ Jazz Time								
Sax. Full	Full Brass	Mute Ens.	Solid Tutti	Moon Light	Trb. Ens.	Quart et	Cockt ail	
BeBop	Afro' Jazz	Jazz Vi.	Swing Waltz	Fast Combo	Dixie	Radio Days	Charl eston	
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	

※ 音色にふさわしいリズムやエフェクト、PAN…もセットされています。
音色の組み合わせも、音色のキャラクターを生かし、工夫されています。レ
ジスト作りの参考にしてください。

メニューを確認してみましょう

1ページ目

REGIST DISK								PAGE: 1 · 2 · 3 · 4 · 5
Symphonic Orchestra								
Maestoso	Grand Orch.	Full St.	Str. Ens.	LowSt &Harp	Pizz. Ens.	Class icEns	Woods Quart	
Flute &Harp	Fanfara re	Brass Ens.	PfCli max	Baroq ue	VI.Ro coco	Str. Quart	Choir Tutti	

2ページ目

REGIST DISK								PAGE: 1 · 2 · 3 · 4 · 5
Twilight Illumination ~ Jazz Time								
Sax. Full	Full Brass	Mute Ens.	Solid Tutti	Moon Light	Trb. Ens.	Quartet	Cocktail	
BeBop	Afro' Jazz	Jazz VI.	Swing Waltz	Fast Combo	Dixie	Radio Days	Charleston	

3ページ目

REGIST DISK								PAGE: 1 · 2 · 3 · 4 · 5
Latin								
Samba Brass	Samba Light	Bossa Combo	Bossa Str.	Mambo Slow	Mambo Fast	Rhumba	Beguine	
Cha - Cha	Salsa	Tango Argen	Tango Conti	Mexican	Viva! Bamba	Jamaican16	Jamaican12	

4ページ目

REGIST DISK								PAGE: 1 · 2 · 3 · 4 · 5
Dance & Fusion								
Disco	Dance Pop	Euro Beat	World Cup	Funk	Dance Class	R&R	Twist	
Bounce	Brite Piano	Sax.& Synth	JazzF usion	Ocean Gtr.	16Bt. Pf	16Bt. Balad	16Bt. Latin	

5ページ目

REGIST DISK								PAGE: 1 · 2 · 3 · 4 · 5
Black & White ~ Organ Sounds								
Straight	Cluster	Dry Combi	Fat & Rich	Moody	Full Balad	Light Combi	Organ Cla.	
White Shade	Pale Great	Metal Combi	Blues	Cathedral	Chapel	Carousel	Stadium	

それぞれの内容、特徴は次ページの表に示された通りです。

レジストレーションメニューリスト

ページ1: Symphonic Orchestra

	レジストレーション名	内容	推奨曲
1	Maestoso	壮大なフルオーケストラサウンド。ワーグナーなどのスケールの大きな管弦楽をイメージ。ペダル鍵盤2のドットボタン[1]にティンパニロールを用意。	「マイスタージンガー」前奏曲(ワーグナー) 交響曲「運命」終楽章(ベートーベン)
2	GrandOrch.	1.Maestosoと同じフルオーケストラですが、より幅広いいろいろな曲に応用できます。	悲愴(チャイコフスキー) 禿山の一夜(ムソルグスキー)
3	Full St.	フルストリングアンサンブル。弦楽セレナーデを弾く、またはリズムをスタートさせてウィンナーワルツを弾いてもGOOD!	弦楽セレナーデ(チャイコフスキー) ウィーンの森の物語(J.シュトラウス)
4	Str. Ens.	8'でまとめた豊かに響くストリングス。どんな曲でも弾けちゃいます!	田園(ベートーベン) 弦楽のためのアダージョ(バーバー)
5	LowSt&Harp	上鍵盤は広がりのあるチェロアンサンブル。下鍵盤はハーブ&ストリングス。歌い上げるような曲にぴったりです。	白鳥(サンサーンス) 木星(ホルスト)
6	Pizz.Ens.	上、下、ペダル鍵盤全部ピチカートに設定。上鍵盤Leadのピチカートにはディレイを使用し、複数で演奏しているときの微妙なズレを表現してみました。	ピチカートポルカ(J.シュトラウス) プリルク プランク プランク(R.アンダーソン)
7	ClassicEns	上鍵盤は木管。下鍵盤は弦のオーケストラ。	「フィガロの結婚」序曲(モーツァルト) 「セビリアの理髪師」序曲(ロッシニ)
8	WoodsQuart	木管アンサンブル。ペダル鍵盤2のボリュームを上げると下鍵盤にホルンが登場します。	「もう飛べまいぞこの蝶々」(モーツァルト) ソナチネ(クレメンティ)
9	Flute&Harp	上鍵盤はフルートソロ、下鍵盤はハーブ&ストリングス上鍵盤1にはクラリネット、上鍵盤2にはイングリッシュホルンが設定してあるので、それぞれのボリューム操作だけでさまざまな木管のソロをとることができます。	メヌエット-アルルの女(ビゼー) アラゴネーズ-カルメン(ビゼー)
10	Fanfare	その名のとおりファンファーレ。	スーパーマン(J.ウィリアムス) 庶民のためのファンファーレ(コーブランド)
11	BrassEns.	上鍵盤トランペット、下鍵盤トロンボーン、ペダル鍵盤チューバ。リズムをスタートさせるとマーチのにぎやかなアカンパニメントも登場します。	ブロムナード-展覧会の絵(ムソルグスキー) ロンド(H.パーセル)
12	PfClimax	スケールの大きなピアノコンチェルト用のレジストです。下鍵盤でダイナミックに弾くと効果的です。	ピアノ協奏曲(チャイコフスキー) ピアノ協奏曲(ラフマニノフ)
13	Baroque	バロックが弾けるストリングオーケストラ。リズムをスタートさせると華やかなアカンパニメントが現れます。	ブランデンブルグ協奏曲(J.S.バッハ) マタイ受難曲(J.S.バッハ)
14	Vl.Rococo	上鍵盤はバイオリン ソロですが、上鍵盤1、2にアンサンブルを用意してあるのでボリュームを上げてみましょう。13:Baroqueと組み合わせると効果的です。	四季(A.ヴィバルディ) ガボット(J.S.バッハ)
15	Str. Quart	上鍵盤はバイオリン1、2、下鍵盤ピオラ、ペダル鍵盤チェロという想定です。	セレナーデ(ハイドン) アイネ クライネ ナハト ムジーク(モーツァルト)
16	ChoirTutti	合唱付きオーケストラサウンド。ダイナミックに弾くと雰囲気が出ます。	交響曲第九番(ベートーベン) カルミナ ブラーナ(C.オルフ)

ページ2: Twilight Illumination ~ Jazz Time

	レジストレーション名	内容	推奨曲
1	Sax. Full	S ビッグバンドジャズの定番サウンドです。グライドを使うと上鍵盤のサクソファンアンサンブルがよりリアルになります。	A列車で行こう アメリカンパトロール
2	Full Brass	S パワー全開のフルバンド。メロディオンコードで厚みも十分!!テーマを1:Sax.Fullで、盛り上げる時に2:Full Brassで、という具合に、この2つのレジストで1曲完成です!	コーナーポケット HELLO! EL-900
3	Mute Ens.	S トランペットやトロンボーンミュートのミュートにしたミディアムテンポのスイングです。下鍵盤の4のピアノがC.ベイシーの雰囲気を出しています。	シャイニー・ストッキング リルダール
4	SolidTutti	S 重厚なトゥッティサウンド。3:MuteEns.と組み合わせると効果的です。	スプランキー ドント ゲット アラウンド ミー
5	Moon Light	S グレンミラー風のスローナンバーにピッタリのビッグバンドサウンドです。	ムーンライト セレナーデ ムード インディゴ
6	Trb. Ens.	S 5: Moon Lightのバリエーション。ソフトなトロンボーンアンサンブルが魅力です。	想い出のサンフランシスコ 誰かが私を見つめている
7	Quartet	バイブ、ピアノ、ベース、ドラムスといった編成。	朝日の如くさわやかに ザテンドール
8	Cocktail	7:Quartetにギターを加えたもの。	バードランドの守歌 イツツ オンリー ア ベーバムーン
9	BeBop	比較的速いテンポのコンボスタイル。ペダル鍵盤2のボリュームを上げると下鍵盤でベースソロがとれます。また全員でユニソンのフレーズをとる時に便利です。	ナウズ タイム コンファメーション
10	Afro'Jazz	アフロキューバン風。上鍵盤1にはピアノ、上鍵盤2にはジャズギター、Lead2にはサクソフォンをセットしてあるのでボリュームを上げるだけでアンサンブルできます。	チュニジアの夜 オン グリーンドルフィン ストリート
11	Jazz Vl.	S バイオリンをメインにした軽快なスイング。グライドを使ってリアルに弾きましょう。	ティーン フォーター 明るい街角で
12	SwingWaltz	軽やかなジャズワルツ。上鍵盤のジャズギター、ハーモニカ、ホイッスルのボリュームを上げ下げして各楽器のソロをとっていくのもGOOD!	ブルーゼット いつか王子様が
13	Fast Combo	速いテンポの4ビートですが、カスタムA.B.C.でラクラク!上鍵盤のそれぞれのボリュームを上げ下げして各楽器のソロにし、セッションの雰囲気を出しましょう。	インビテーション チェロキー
14	Dixie	S デキシーランドジャズサウンド。フットスイッチでフィルインを入れながら楽しく弾きましょう。	聖者の行進 タイガーラブ
15	RadioDays	ラジオが主役だった時代のサウンドを再現しました。下鍵盤のホリゾンタルタッチでチューニングの雰囲気を出してみましょう。	君去りし後 キャバレー
16	Charleston	15:RadioDaysからディストーションを除いた、ストレートなチャールストン。	子豚のチャールストン スイート ジョージア ブラウン

S SOLOモード機能使用のため、あらかじめ二レバーを立てておきましょう。

ページ3: Latin

	レジストレーション名	内容	推奨曲
1	SambaBrass	ブラス中心のサンバ。	ブラジル トリスデーザ
2	SambaLight	軽めのさわやかサンバ、Leadにはフルートを用意。	ティコ ティコ オルフェのサンバ
3	BossaCombo	コンボ編成のボサノバ。上鍵盤のそれぞれの音群のボリュームを上げ下げしてソロプレイもできます。また4:BossaStr.も使って1曲弾いてもGood!	オルフェの唄 イバネマの娘
4	BossaStr.	S ニーレバー・オンでストリングアンサンブルが登場します。	ウェーブ メディテーション
5	MamboSlow	S ベレスブラード風。Leadのトランペットはアフタータッチを使ってよりリアルに。下鍵盤とペダル鍵盤はユニゾンで弾くと雰囲気が出ます。	ある恋の物語 闘牛士のマンボ
6	MamboFast	比較的速いテンポのマンボ。パワフルなブラスサウンドが出せるよう頑張りましょう。	マンボ No.5 マンボ ジャンボ
7	Rhumba	S トロンボーンをメインにしたルンバ。ホリゾンタルタッチやグライドを使ってムーディーに。	タブー ベサメ ムーチョ
8	Beguine	さわやかサウンドのビギン。	ビギン ザ ビギン そよ風と私
9	Cha - Cha	木管をメインにしたチャチャチャ。上鍵盤はスタッカート気味に弾くとシロフォンや木管が活きます。	ティー フォートゥー スウィート アンド ジェントル
10	Salsa	上鍵盤はブラス、下鍵盤はアカンパニメントのピアノを活かしたサルサ。	ピタースウィート サンバ コーヒー ルンバ
11	TangoArgen	S スタンダードなアルゼンチンタンゴバンド。リズムなしでテンポを揺らせて弾いてもよいでしょう。	ラ クンパルシータ エル チョクロ
12	TangoConti	ストリングオーケストラが奏でるコンチネンタルタンゴ。	ソング オブ ザ パール フィッシャー ブルー タンゴ
13	Mexican	ロスインディオス・タバラス風ギター。グライドを使ってよりリアルに!	マリア エレナ
14	Viva!Bamba	S メキシカンスタイル。トランペットを高らかに!	ラバンバ
15	Jamaican 16	カリビアンスタイル。スチールドラムはトレモロ奏法で。	バナナポートソング
16	Jamaican 12	バウンス系。オルガンにはフットスイッチでトレモロをON/OFFすることができます。	マスター ブラスター

ページ4: Dance & Fusion

	レジストレーション名	内容	推奨曲
1	Disco	S 70年代ディスコ風。	ブギーワンダーランド レッツ グループ
2	DancePop	S 80年代ダンスポップ風。	オープン ユア ハート
3	Euro Beat	ユーロビート、シンセサウンド。	ゴー ウェスト
4	WorldCup	ラテン系ダンスミュージック。上、下鍵盤共にユニゾンでメロディをとって。	ザ カップ オブ ライフ
5	Funk	S ミディアムテンポのファンキーな16ビート。セカンドエクスプレッションペダルを使って表情をつけてもGOOD!	ロック イット
6	DanceClass	オルガン中心。ダンスクラシックの曲に。	ストップ!イン ザ ネーム オブ ラブ
7	R&R	S オールドイズその1。ニーレバーONでミュートギター"テケテケ"サウンドが登場します。	ジョニー B グッド
8	Twist	オールドイズその2。トランペットを高らかに。	オー!キャロル
9	Bounce	バウンス系16ビートのさわやかフュージョン。	モーニン
10	BritePiano	ピアノ&エレピ。オーケストラヒット風は下鍵盤2に用意。	ウィンター ゲームス
11	Sax.&Synth	S 生サクセス&シンセのファンキー16ビート。	カメレオン
12	JazzFusion	トランペットとサクセスをそれぞれソロにしてかけ合いにしてもGOOD!	処女航海
13	OceanGtr.	S ウェストコースト風ギターサウンド。グライドを使って効果的に!	ブルー ラグーン
14	16Bt.Pf	ピアノメインのさわやか16ビート。	ナイト パーズ
15	16Bt.Balad	S ソプラノサクセスをメインにしたバラード。ニーレバーONできらびやかなエレピサウンドも得られます。	ソング バード
16	16Bt.Latin	上鍵盤のそれぞれのボリュームを上げ下げして各楽器のソロをとっていくのも効果的。	スペイン

S SOLOモード機能使用のため、あらかじめニーレバーを立てておきましょう。

ページ5: Black & White ~ Organ Sounds

	レジストレーション名	内容	推奨曲
1	Straight	テンポ、スタイル共通。ミディアムファーストテンポのスイングの曲なら何でもOK!Lead1にはジャズギター、Lead2はテナーサクスを用意。フットスイッチでトレモロON/OFF可。	酒とバラの日々 ブルーレディに赤いバラ
2	Cluster		マックザナイフ 浮気はやめた
3	Dry Combi		ストレイト ノーチェイサー ピリーズパウンス
4	Fat & Rich		チェロキー バイバイブルース
5	Moody	スローバラード用。	ジョージア オン マイ マインド ミスティ
6	Full Balad		マイロマンス 恋に落ちたら
7	LightCombi	ワルターワンダラー風ボサノバ。Lead1にはフルートを用意。フットスイッチでトレモロON/OFF可。	サマーサンバ イバネマの娘
8	OrganCla.		ジャズサンバ ワンノートサンバ
9	WhiteShade	スロー8ビート。Leadにはエレクトリックギターを用意。フットスイッチでトレモロON/OFF可。	青い影 鬨りゆく部屋
10	Pale Great		青い影 マイウェイ
11	MetalCombi	ヘビメタ用オルガンサウンド。Lead1にはディストーションギターを用意。	スモーク オン ザ ウォーター スペーストラッキン
12	Blues	オルガンブルース。Lead1にはエレクトリックギターを用意。フットスイッチでトレモロON/OFF可。	朝日のあたる家 ブルース
13	Cathedral	大聖堂のパイプオルガン。	結婚行進曲(メンデルスゾーン) トッカータとフーガ
14	Chapel	クラシックオルガン。(Flute Chiff)	結婚行進曲(ワーグナー) 主よ人の望みの喜びよ
15	Carousel	カルーセル。グライドをかければなしで弾くと、こわれかけたオルガン風になります。	波濤を越えて 河はよんでいる
16	Studium	フルシアターオルガンサウンド。リズムをスタートさせて弾いてもOK!	野球場につれてって ショウほど素敵な商売はない

Chapter 3

ボイスディスプレイページの追加

ボイスディスプレイに、新しく“リアルタイム演奏に便利なページ”とコンサートなどで役立つ“パラメーターの一括変更ができるページ”が追加され、合計3ページとなりました。

ボイスディスプレイページ1

UPPER		LEAD1	EXP.	UPPER
002 Str.2	001 Str.3	009 Trp.6	[EXP. CONTROL]	[UPPER]
LOWER		LEAD2		LOWER
003 Br.2	006 Br.4	001 V-Fl.		[LOWER]
PEDALS				
Timpani1	015 Tutti2			

このページはEL-900のボイスディスプレイページと同じ内容を表示しますが、ユーザーボイスが設定された音群は、ユーザーボイスであることを示す **U** (ユーザーボイスマーク) が付きます。またそのボイスに、ユーザーが新しい名前を付けてある(変更してある)場合はそのユーザーボイスネームも表示します。



FM+AWMのユーザーボイスにはボイスネームの前に **U** マーク、VAのカスタムボイスには **C** マークが表示されます。

ボイスディスプレイページ2

リアルタイム演奏に便利な機能が1ページに集まっています。演奏する際にこのページを開いておくと大変便利です。

TEMPO	BAR/BEAT	PAGE: 1 · 2 · 3		
128	1.1			
REGISTRATION		MDR		
REG. TOP	15 16 13 12	2:Peace!		
[K<<]	[<]	[>]	[>>]	[STOP] [PLAY] [REWIND] [FWD]

TEMPO(テンポ)

エレクトーンのパネル面のテンポディスプレイに表示されるテンポと同じテンポを表示します。演奏中テンポ変化が楽に確認できます。

TEMPO
128

BAR/BEAT(バー/ビート)

文字通りバー/ビート(小節数/拍数)を表示するわけですが、今までと異なる点は、TEMPO表示から独立しているため、曲中テンポが変化した際にビート(拍数)が一瞬わからなくなるということがなくなります。

また、楽器のほぼ中央に表示されますので、演奏中無理なく見ることができます。

● バー/ビート：リズムスタート時

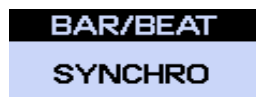


● バー/ビート：リズムストップ時



フットスイッチによってリズムを止めている時もこの表示になります。

● バー/ビート：リズム待機時(シンクロスタート)



REGISTRATION(レジストレーションシフト)

● レジストシフト：OFFの場合



現在のレジストレーションメモリーナンバーが表示されます。

● レジストシフト：SHIFT(シフト)の場合



現在のレジストレーションメモリーナンバー(左)と、次のシフト先(右)が表示されます。

● レジストシフト：JUMP(ジャンプ)の場合



現在のレジストレーションメモリーナンバー(左)と、JUMP先のナンバー(右)が表示されます。▲ ▼ ボタンで演奏中でもリアルタイムにJUMP先の変更が可能です。

● レジストシフト : USER(ユーザー)の場合



レジストレーションシフトの状態を表示しています。カーソル(↑)を移動させてレジストレーションを変更することができます。演奏中シフトミスをした際、進めたり、戻したりしたいときに便利です。なお、ここでエディット(シフト編集)することはできません。

MDR : MDR簡易操作

現在選択されているソングナンバーとソング名を表示し、スタート、ストップ、ソングセレクトがここで操作できます。

ネクストソングを使用している場合、次のソングが読み込まれたかどうかを確認することができ、大変便利です。

● MDR ディスク未挿入時



ディスク未挿入、録音、ソングデリート、ソングコピー、ディスクコピー時の画面です。この時には画面上の各ボタンは機能しません。

● MDR ソング名表示画面



現在選ばれたソング番号と、ソング名を表示しています。XGのソングもMDRのソング同様に操作可能です。

● MDR ソング再生時画面



ソング再生、ソングリピート時の画面です。ソング再生中はSTOPボタンのみ操作可能となります。また、ネクストソング時はソング名も変更表示されます。

ボイスディスプレイページ3

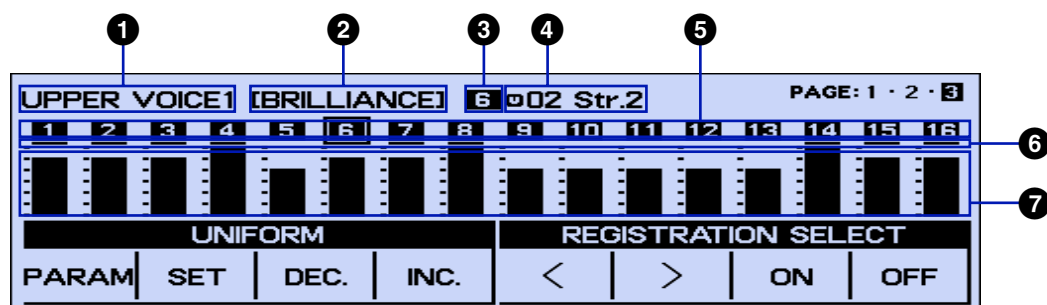
レジストレーションデータの各パラメーターを一括して変更することができます。

コンサートや発表会のリハーサル時、そのホールの響鳴の仕方に合わせてリバース設定を変更したい場合があります。今までは全体にかかるREVERB(パネル上のリバース)のDEPTH/LENGTHを一括変更(揃える)することができましたが、このELX-1mでは各音群ごとに、よりさまざまなパラメーターの変更が可能になりました。しかも、特定のレジストレーションのあるパラメーターの値を基準にして、他のレジストレーションの同じパラメーターの値を同じ値に一括変更したり、相対的

に変更したり、同一音色がアサインされているレジストレーションだけを選んで…など、いくつかの選択/設定方法を持っています。

たとえば、長時間かけてレジストレーションを作っているうちに(特に何日間にわたって作っている場合など)、TrumpetのPANが1つずつズレてしまっていた…という時、各音群ごとにそのTrumpetがアサインされているレジストレーションだけを選択して、PANを統一したり、一括変更することも可能というわけです。

● 表示画面の見方を説明しましょう。



① どの音群か

ここではUPPER KEYBOARD VOICE 1が選択されています。

② 何のパラメーターを表示しているか

ここではBRILLIANCE(ブリリアンス)の状態を示しています。

③ 選ばれているレジストレーションメモリーナンバー

ここではレジストレーションメモリー6が選択されています。

④ 選ばれているレジストレーションにセットされている音色

ここではUSER VOICE2(02 Str.2)がセットされています。

⑤ レジストレーションナンバー

③で表示された番号のところにカーソル(□)が付きます。

カーソルは画面上の(<, >ボタン)で移動します。なお、パネル上の違うレジストレーションメモリーボタンを直接押しても、画面上のカーソルは動きません(連動していません)。

⑥ 同一音色表示

④でセットされている音色と同じ音色がセットしてあるところにこの下線が付きます。ここではUSER VOICE2がセットしてあるレジストレーションメモリーのところに下線が付いています。

⑦ パラメーターの値

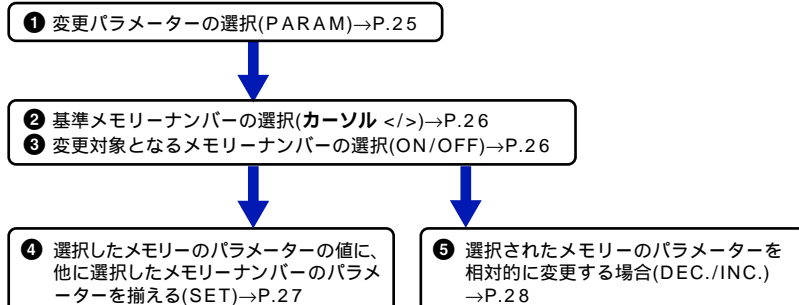
選択した各レジストレーションのパラメーターの値を表示しています。

それぞれに表示される目盛りは、各パラメーターを設定する際の表示に準じています。

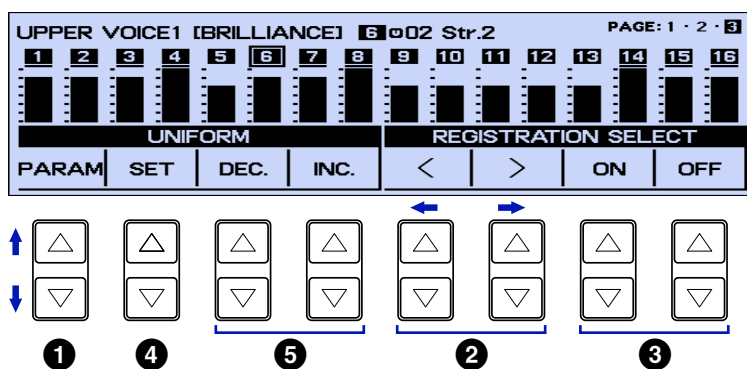
ここではレジストレーションメモリー1~16のUPPER KEYBOARD VOICE 1にセットされた各BRILLIANCEの値を示しているのので、目盛りの単位は-3~+3を意味しています。

たとえば、サステインの場合は、パネル上のサステイン同様の目盛り単位(0~12)となります。

操作の流れ



UNIFORM(ユニフォーム)/REGISTRATION SELECT(レジストレーションセレクト)



① PARAM(パラメーター)

変更するパラメーターを選びます

一括変更可能なパラメーターは下記の通りです。

(下記記載は▼ボタンで進めていく順です。電源ON時はReverb Length：リバーブレングスが選択されます)

では、他にどのようなパラメーターを変更できるのか挙げてみましょう。

● パラメーター一覧

Reverb(リバーブ)に関するパラメーター

Reverb Length
Rverb Depth
UK1 Reverb
UK2 Reverb
LK1 Reverb
LK2 Reverb
Lead1 Reverb
Lead2 Reverb
PK1 Reverb
PK2 Reverb
U.Flute Reverb
L.Flute Reverb
Percussion Reverb
Accompaniment Reverb

Sustain(サステイン)に関するパラメーター

UK Sustain
LK Sustain
PK Sustain

PAN(パン)に関するパラメーター

UK1 PAN
UK2 PAN
LK1 PAN
LK2 PAN
Lead1 PAN
Lead2 PAN
PK1 PAN
PK2 PAN

Volume(ボリューム)に関するパラメーター

UK1 Volume
UK2 Volume
LK1 Volume
LK2 Volume
Lead1 Volume
Lead2 Volume
PK1 Volume
PK2 Volume
U.Flute Volume
L.Flute Volume
Percussion Volume
Accompaniment Volume

Brilliance(ブリリアンス)に関するパラメーター

UK1 Brilliance
UK2 Brilliance
LK1 Brilliance
LK2 Brilliance
Lead1 Brilliance
Lead2 Brilliance
PK1 Brilliance
PK2 Brilliance

● パラメーターの選択

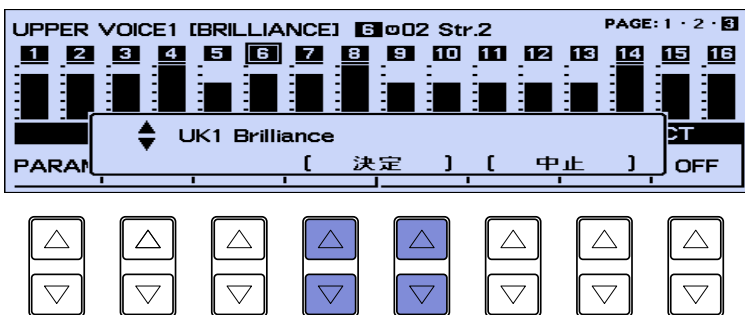
① PARAM+変更したいパラメーターのボタン

Volume(ボリューム)やBrilliance(ブリリアンス)のようなパネル上にあるパラメーターは<PARAM+変更したい音群のパネル上のVolume ON>や<PARAM+変更したい音群のパネル上のBrilliance ON>で直接選択することができます。

② PARAM

PARAMボタンを押し、そのまま手をはなすと選択ダイアログが表示されます。データコントロールボタン(▲ ▼)でパラメーターを選択し、[決定]でパラメーターを決定します。

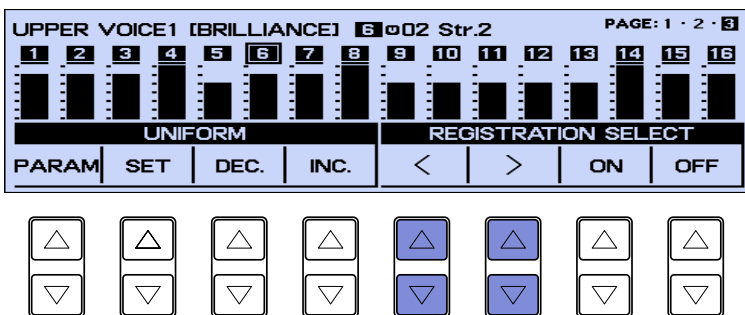
選択ダイアログ



[決定]で、変更したいパラメーターを決定します。

② カーソル(<)(>)

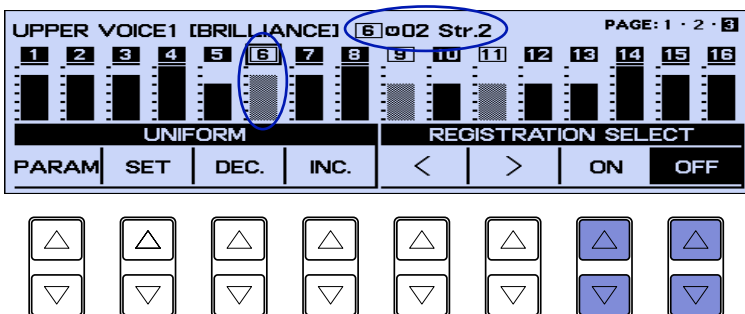
このカーソルを左右に動かし、ON/OFFの選択対象を選んだり、基準となるレジストレーションメモリーナンバーを選びます。



この場合はM6が選ばれています。

③ ON/OFF

カーソルを動かし、OFFを押すと非選択(灰色表示)となり、ONを押すと選択表示(黒色表示)になります(パワーオンリセット後は全選択状態です)。



この場合、カーソルが6にありOFFボタンを押したので6のパラメーターの値は非選択(灰色表示)となり、音色表示もOFF状態になっています。



この方法で選択できるパラメーター
 ・ボリューム
 ・ブリリアンス
 ・リバーブデプス
 ・サステイン



COARSEボタンを押しながらデータコントロールボタン(▲ ▼)で、パラメーターを進めていくと、音群を保持して変化します。
 たとえばUK1 PAN ⇒UK1 Volume⇒UK1 Brilliance
 といったようにUK1を保持して進みます。音群のないパラメーターは先頭のパラメーターを表示します。
 ⇒UK1 Brilliance⇒UK1 Reverb⇒UK Sustain⇒UK1 PAN
 というように進みます。



ディスプレイでカーソル(□)の付いているレジストレーションメモリーナンバーが、変更の基本データとなり、REGISTRATION SELECT(レジストレーションセレクト)のON/OFFで変更の対象となるメモリーナンバーを選んで、一括変更を実行します。

■ COARSEボタン+ON

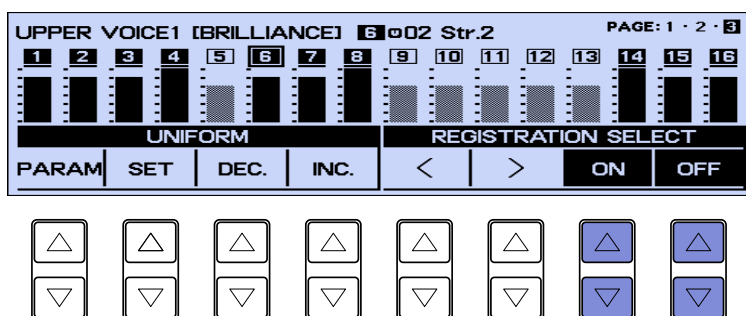
COARSEボタンを押しながらONを押すと、すべてのレジストレーションメモリーが選択されます(すべて黒色状態)。

■ COARSEボタン+OFF

COARSEボタンを押しながらOFFを押すと、すべてのレジストレーションメモリーが非選択となります(すべて灰色状態)。

■ ON+OFF

ONとOFFを同時に押すと、カーソルのあるレジストレーションメモリーナンバーにセットされている音色と同じ音色がセットされているレジストレーションメモリーナンバー(番号の下に横線があるもの)だけがON(選択)状態になります。

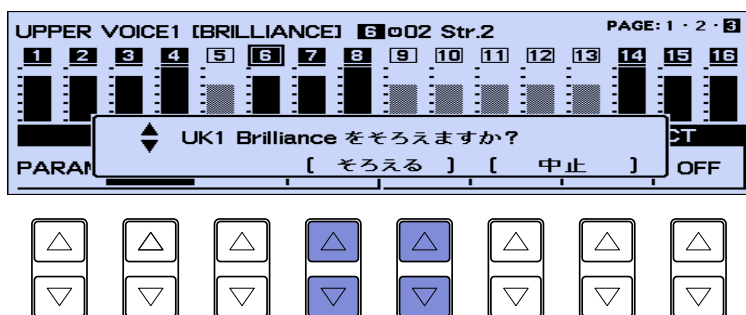


この場合は、6のUSER VOICE2(02 Str.2)と同じ音がセットされている1、2、3、4、6、7、8、14、15、16のみON(選択)状態になり、他はOFF(非選択)状態になっています。

4 SET(セット)

カーソル(□)のあるレジストレーションメモリーナンバーのパラメーターの値に、他に選択した(REGISTRATION SELECT: レジストレーションセレクト: ON状態の)メモリーナンバーのパラメーターを揃える時にこのSETを押します。

SETを押すと、確認のダイアログが表示されます。



この図の場合は、M6のUPPER KEYBOARD VOICE 1のBrillianceの値に、ON状態である1、2、3、4、7、8、9、10、12、13、14、15、16を揃えるという画面です(ON、OFFについてはP.26参照)。

OKの場合は[そろえる]ON

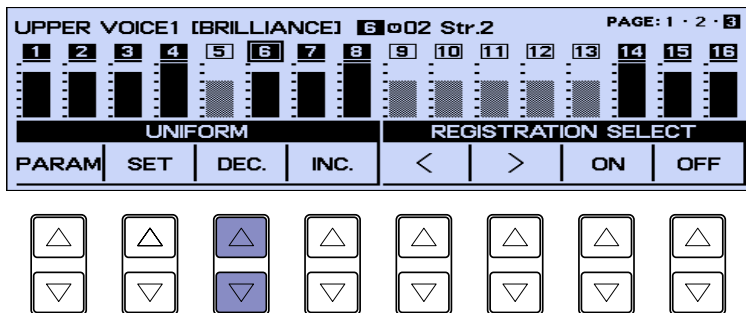


ディスプレイ上でデータが揃ったことを目で確認できます。

⑤ DEC.(デクリメント)/INC.(インクリメント)

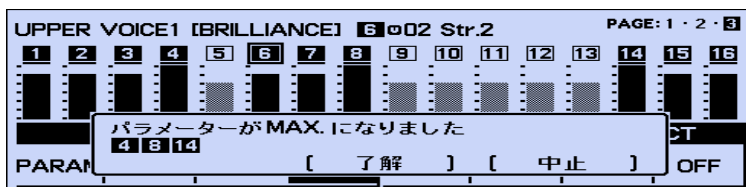
選択した (REGISTRATION SELECT : レジストレーションセレクト : ON状態)のメモリーナンバーのパラメーターの値を、相対的に減らしたり(DEC.)、増やしたり(INC.)します。

ただし、次のディスプレイの場合、M6を中心に考えて、値をINC(インクリメント=増やす)しようとする、M4、M8、M14の値はすでにMAX(最高値)なのでこれ以上増やすことはできません。



そういう時は次のメッセージが表示されます。DEC(デクリメント=減少)時に、最低値に達した場合も、同様のメッセージが表示されます。

警告ダイアログ



この場合は[了解]を押すと、M4、M8、M14の値はそのまま(MAX)で、作業を続けると他のパラメーターが変更されます。[中止]を押すとすべてのパラメーターは変更されません。



DEC(デクリメント)の下 ▲ ▼ どちらを押しても減少します。



INC(インクリメント)の下 ▲ ▼ どちらを押しても増加します。

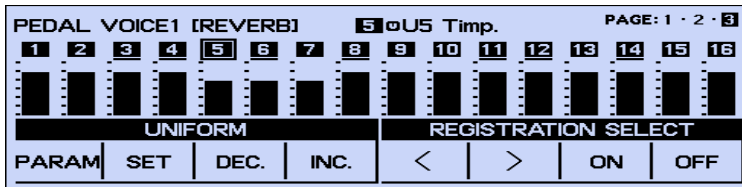


[了解]を押すと、元に戻すことができないので十分注意しましょう。

いろいろな変更画面

パラメーターによって表示画面が異なります。

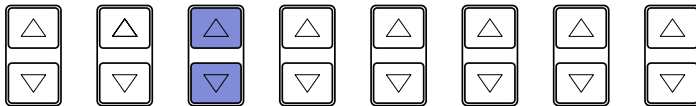
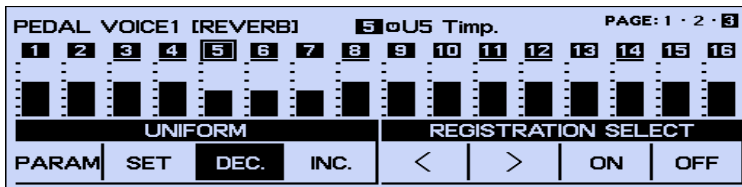
REVERB変更画面



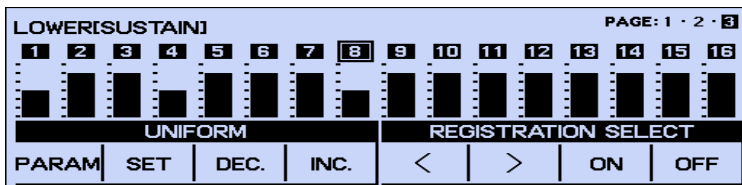
これは、ペダルボイス1のReverb一覧です。

全体に少々減らしたい、ということで想定してみましょう。

まず、COARSEボタン+ONですべてを選択します。全体に(相対的に)減らしたいわけですから、DEC.ボタンで減らしていきます。



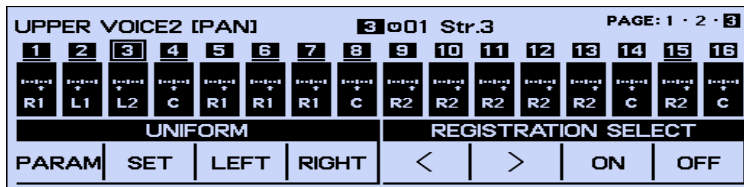
SUSTAIN変更画面



これは、ロワーキーボードボイスのSustain一覧です。

さきほどのREVERB変更画面と同様の操作で変更します。

PAN変更画面



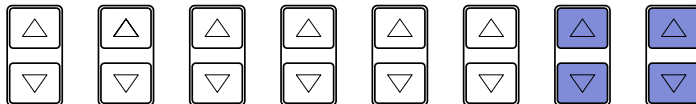
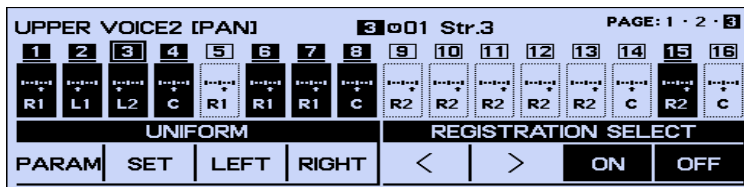
これはアップパーキーボードボイス2にセットされた音色のPANの状態を表示しています。

カーソルはM3にあり、ここにセットされている音色はユーザーボイス1 (01 Str.3) で、PANはL2です。

同じ音色はM1、M2、M4、M6、M7、M8、M15のようですが、PANはそれぞれまちまちです。

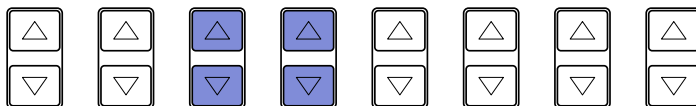
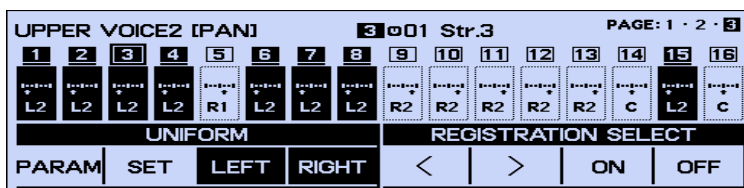
これを揃えたい場合は、変更したくない他のレジストレーションメモリーナンバーをOFF(非選択状態)にします。操作法は、同一音色のみを選択するON+OFFです。

これで、一括変更準備ができました。



最後にSETボタンを押し変更終了です。

ディスプレイ画面上、同一音色のM1、M2、M4、M6、M7、M8、M15はM3と同じPANの状態になっているはずです。



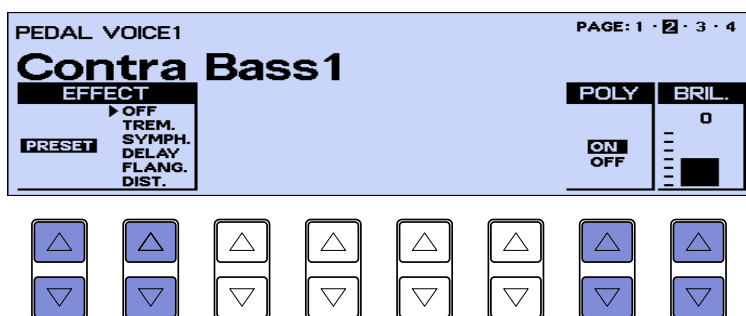
このように、PANの位置を揃える以外に、LEFT/RIGHTで、相対的に左右に移動させることもできます。前述同様に対象レジストレーションナンバーを選択し、LEFT/RIGHTボタンで移動させます。

Chapter 4

ペダルポリモード

(ペダル複音発音)

ペダル鍵盤を単音発音(モノフォニック)から、複音発音(ポリフォニック)に変更できます。



ペダルの複音発音が可能になったことで、その用途は広がりました。

ペダル鍵盤でのレガート奏法や重音奏

PEDAL1音群、PEDAL2音群、それぞれ別々に設定できますので、いろいろな使い方が考えられます。

To Lower機能を使って、普通の1つの音群として使用可能

To Lower機能を使って、普通の1つの音群として下鍵盤で活用できます。トップのラインを取る際も便利です。

音群別トランスポーズ(37ページ参照)を併用

音群別トランスポーズを併用して、ペダル鍵盤での4重音奏などもできます。

A.B.C.(=オートベースコード)との併用

1音群のみPOLYモードにし、もう片方にA.B.C.(=オートベースコード)を設定すると、POLYモードを設定した方の音は演奏したままの音で発音します。(片方持続音、もう片方でA.B.Cの動きが得られます。)



発音数は、複音発音にした場合(POLY: ON)、UPPER/LOWER/ PEDAL1音群合計で、14音ですので注意しましょう。



音群別トランスポーズを併用しての実習(→P.37)



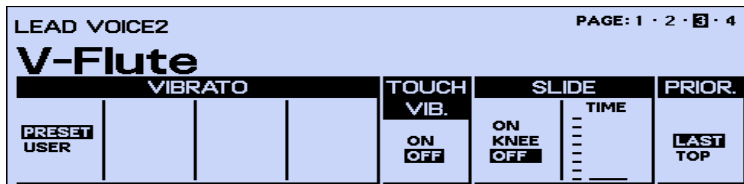
ペダルポリモードがONになっている音群は、A.B.C機能が動きません。

Chapter 5

リードプライオリティ

発音優先順位の選択

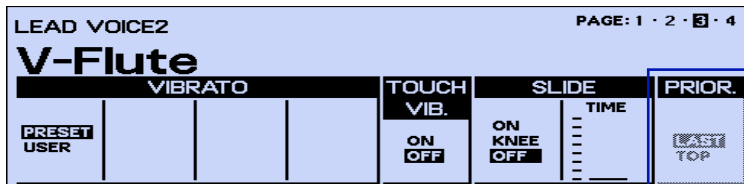
Lead2音群の発音方式を、通常のTOP(高音優先)から、LAST(後着優先)に変更ができます。



このリードプライオリティをセットするところは、リードボイス2のボイスコンディションページ3画面です。

SOLOモードとの併用不可

LEAD VOICE2にはもう一つSOLOモードという発音方式がありますが、これとの併用はできません。SOLOモードがONの時はグレー表示となり、リードプライオリティは機能しません(操作は可能)。



デフォルト時(初期時)はTOP(高音優先)です。



このリードプライオリティ機能はレジストレーションに記憶されます。



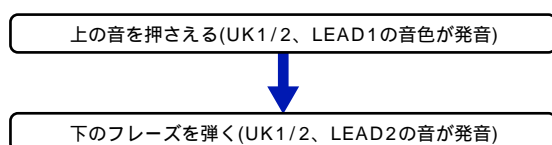
今までのページにあったTUNE(チューン)はボイスコンディションページ4に移動しました。

いくつかの使用例

- LAST(後着優先)を使用すると、単音でTr(トリル)をする場合、中央の音を押さえ、上下でトリルが可能です。(今までの単音トリルは上の音のみ可能でした)
- 1つのフレーズを単音で演奏する際にレガートに発音させることができます。English Horn(イングリッシュホルン)の音をLead2のドットボタンにセットして、①リードプライオリティをLAST(後着優先)にセットしたものと、②してないものとして、弾き比べてみましょう。通常のリード仕様②ですと、下降フレーズの場合高音優先のためどうしてもきれいに音の粒を表現できませんが、①ですと後着優先になるため、スムーズな流れを表現することができます。



- ソロモードを使用した時と同じ効果になりますが、その他の音群(UPPER KEYBOARD1/2、LEAD1)も同時に使うことが可能です。



Chapter 6

マイクロチューニング トランスポーズ チューン

ELX-1mでは、音程に関する設定をVOICE CONDITION(ボイスコンディション)画面ページ4にまとめました。

設定内容は、MICRO TUNING(マイクロチューニング：音律)、TRANS(トランスポーズ)、TUNE(チューン)です。

これらは、音群別にそれぞれ設定することができ、活用の幅が広がりました。



設定する場所は、各音群のボイスコンディション画面ページ4です。


MICRO TUNING(マイクロチューニング=音律)

現在鍵盤楽器で広く用いられている音律は、1オクターブを均等に12音程に分割して、どんな調性でも演奏することができる平均律と呼ばれるものです。

たとえば鍵盤楽器では、すべての音を固定しなくてはならず、バイオリンや歌のように、同じ音でも前後の関係などによってわずかに音を上下させることができないので、一種の妥協案として音律が生まれたとされています。とはいえ、音程は近似値でしかなく、過去の音楽家は平均律にたどりつくまでに色々な試行錯誤を繰り返し、さまざまな音律を作ってきました。

それぞれの特徴は時代背景が大きく影響を及ぼしているようです。

ELX-1mではそれら古典的音律や新しい試みの音律の中から、14の音律を設定することができます(次ページ表参照)。

ELX-1m MICRO TUNING ( ボタンで表の順に表示させることができます。)

調律名	SELECT	KEY	特徴
平均律 Equal Temperament	Equal	-	19世紀末に発明された音律で、12のすべて等しい半音からなります。これにより転調も完全に自由になり、後期ロマン派から印象主義、12音音楽に至る西洋音楽の隆盛がもたらされました。
ピタゴラス音律 Pythagorean	Pythagorean	C/C#/D/D#/E/F/F#/G/G#/A/A#/B	ギリシャ時代の音律で、ローマ人に継承されグレゴリオ聖歌となり吟遊詩人にも伝わり中世の音楽を形成しました。単旋律音楽に独特の美しい情緒を与えます。
純正律 長調 Pure Major	Pure Major	C/C#/D/D#/E/F/F#/G/G#/A/A#/B	主要長3和音(C-MajorではC, F, G)が純正になり美しい響きがありますが、ある一つの調しか純正な音が出せないため転調に不都合を生じます。
純正律 短調 Pure Minor	Pure Minor	C/C#/D/D#/E/F/F#/G/G#/A/A#/B	主要短3和音(A-MinorではAm, Dm, E)が純正になる音律です。
中全音律 Mean-tone	Mean Tone	C/C#/D/D#/E/F/F#/G/G#/A/A#/B	ルネサンス～バロック時代のオルガンとチェンバロに於ける標準的な調律法となった音律です。ヘンデルに愛されたといわれます。
ヴェルクマイスター (第1技法第3番) Werckmeister	Werckmeister	-	調性的音律と呼ばれており、移調の際に調律を変える必要がありません。しかし、演奏をする際の調号(♯, ♭)が増えるにしたいが、和音はより緊張感を持ち、旋律はより美しくなるという特徴を持っています。つまり転調することにより曲想を大きく変えることができます。 バッハ、ベートーベン、ショパンなど古典派からロマン派にかけて愛された音律で、クラシックの名曲はほとんどこれらの調性的音律によって書かれました。音律名には考案者の人物名がつけられています。
キルンベルガー (第3法) Kirnberger	Kirnberger	-	
バロッチェ&ヤング Vallotti & Young	Vallotti & Young	-	
1/4 TONE Quarter-tone	Quarter Tone	C/C#/D/D#/E/F/F#/G/G#/A/A#/B/highC	鍵盤上の半音が1/2半音となる特殊な調律です。センターキーを上下鍵盤ではC2～C3、ペダル鍵盤(音群)ではC1～C2に設定できます。*1
1/8 TONE Eighth-tone	Eighth Tone	C/C#/D/D#/E/F/F#/G/G#/A/A#/B/highC	鍵盤上の半音が1/4半音となる特殊な調律です。センターキーを上下鍵盤ではC2～C3、ペダル鍵盤(音群)ではC1～C2に設定できます。*2
ユニーク Unique	Unique	C/C#/D/D#/E/F/F#/G/G#/A/A#/B	音階の3度音と7度音を1/4半音上げ、2度音と6度音を1/4半音下げた、民族的な雰囲気のある独自の音律です。
ランダムピッチ10 Random Pitch 10	Random 10	-	キーオンごとにランダムにピッチが変化します。 (最大約±10セント)
ランダムピッチ16 Random Pitch 16	Random 16	-	キーオンごとにランダムにピッチが変化します。 (最大約±16セント)
ランダムピッチ1200 Random Pitch 1200	Random 1200	-	キーオンごとにランダムにピッチが変化します。 (最大約±1200セント:±1オクターブ)

*1 4半音上がってやっと実音で半音上がった状態になります。

*2 8半音上がってやっと実音で半音上がった状態になります。



- 平均律～バロッチェ&ヤングまでの音律は古典音楽で使用された音律です。
- 各音群ごとに設定することができるので、さまざまな用途に使用できます。
- ランダムピッチは鍵盤を押すたびにランダムに音程が変化します。
ランダムピッチ10や16はストリングスやブラスなどのピッチのぶれに利用することもできます。

実際に  弾いてみよう!



BRASSの音色をセットし、ランダムピッチ10を使用してみましょう。



デフォルト時はEqualに設定されています。
SELECT   ボタンを同時に押すと、Equalに戻ります。



ブラスなどの音色はランダムピッチ10、ストリングスなどのもとも音程に幅がある音色はランダムピッチ16を使用すると効果的です。

- Random Pitch (ランダムピッチ)1200で全く新しい音楽を作り出すこともできます。



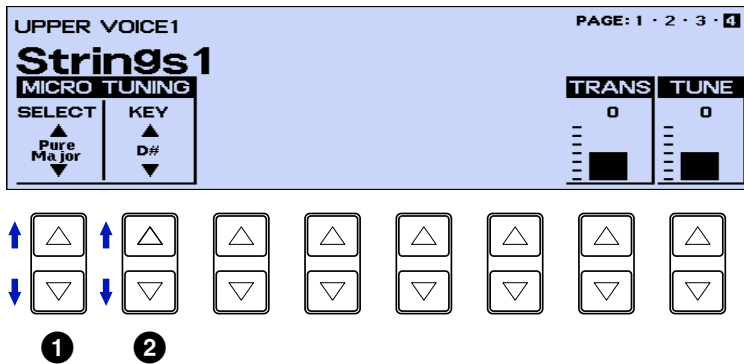
MARIMBAの音色にRandom Pitch1200を設定し、演奏してみましょう。

音を伸ばして弾いてみましょう。マリンバの音色の特徴(リピート)が活かされ大変面白い反応をします。

KEY指定がある音律(表:KEY参照)は、その演奏する曲の調性に合わせて、KEY設定をする必要があります。その曲の途中で転調する場合は、転調する調性にKEYを再度合わせなければなりません。

このマイクロチューンはレジストレーションメモリーに記憶できるので、メモリーチェンジによってその対応をするとよいでしょう。

- ① マイクロチューニングの項目を変更する(例: Pure Major)
- ② マイクロチューニングの調を変更する(例: D#)



KEY指定がないものは変更できません。



TRANS (トランスポーズ)

各音群ごとに+6~-6の範囲(半音単位)で設定することができます。

EL-900までは楽器全体で1つのトランスポーズ設定でしたが、この楽器ではさらに各音群でも設定可能になり、いろいろな用途が考えられます。

- 音群ごとに変化させて、3度奏、5度奏、ユニゾン奏などが、簡単にレジストのセットのみで全音群で実現できます。



- デイレイなどエフェクトと合わせても効果的です。
たとえばデイレイで迫りかけるフレーズが3度や6度というのも一つの使い方です。



- ペダルのPOLY MODE(複音)「P.31参照」と併せて、実習してみましょう。
- レジストをセットしましょう。

	1	2	Lead
UK	Shynth Cla 2 (8')	Cosmic 11 (8')	Pan Flute (8')
LK	Piano (8')		その他: Sustain
PK	Strings 8 (4') TRANS=0	Strings 8 (2') TRANS= - 5	UK..10 LK..11 PK..6

- ① PK1にはTRANS (トランスポーズ)は設定されていないので、演奏した♯音(左足)と♭音(右足)が4フィートで発音します。
- ② PK2には、TRANS (トランスポーズ)が-5に設定されているので、♯音(左足)を弾くと、-5低い♮が発音、♭音(右足)を弾くと♭音が発音することになり、ゆたかなサウンドになります。(2'でセットしているので記譜の位置で発音します。)

このPK1に合わせ、LK、UKを自由に演奏してみましょう。

Moderato

- ① 弾いている音 ② トランスポーズで発音している音



もし、全体のトランスポーズを設定し、併せて音群別トランスポーズも設定した場合は、それぞれの設定値が足し合わされて実際の音程が決まります。

TUNE (チューン)

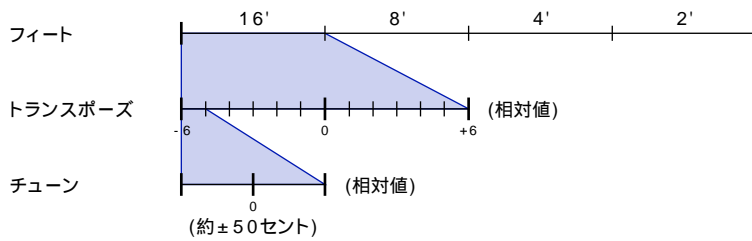
いままではリード音群(ボイスコンディション：ページ3)にしかなかったチューンですが、すべての音群に設定可能となりました。

場所もページ3からページ4(音程に関するページ)に移りました。

可変幅は±43(約±50セント)となり、マイナス方向にも設定することができるので、トランスポーズやフィートと併用することによってどのような音程にでも変化させることが可能です。



音程の概念



Chapter 7

VAボイスエディット

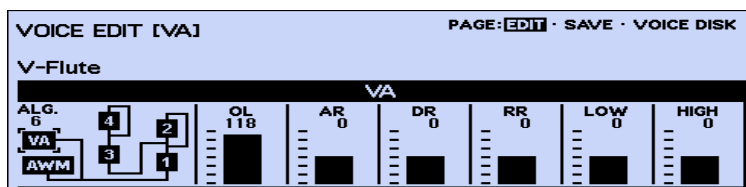
VA音色のボイスエディットが可能になりました。

エディットできるパラメーターはAWMのエディットと同じ

- **OL(OUTPUT LEVEL: アウトプットレベル)**
VAオペレーターの出カレベルを設定します。
設定範囲: 0~127
- **AR(ATTACK RATE: アタックレイト)**
鍵盤を押えた時、0から最大の出カレベルに達するまでの速さを設定します。
設定範囲: -64~63
- **DR(DECAY RATE: ディケイレイト)**
最大の出カレベルから(鍵盤を押えている間、鳴り続ける)一定のレベルに達するまでの速さを設定します。
設定範囲: -64~63
- **RR(RELEASE RATE: リリースレイト)**
鍵盤をはなしたあと、出カレベルが0になるまでの速さを設定します。
設定範囲: -64~63
- **LOW(ロー)**
音を構成する成分(周波数)のうち、低音部を強調したり(+), 抑えたり(-)します。
設定範囲: -64~63
- **HIGH(ハイ)**
音を構成する成分(周波数)のうち、高音部を強調したり(+), 抑えたり(-)します。
設定範囲: -64~63

の6つです。

操作法、考え方はAWMと同じです。



アルゴリズムを見て解るように、実は、一つの音色は、VA+FM+AWMの組み合わせでできています。

ただ、FMとAWMのOL(アウトプットレベル)が0で設定されているため、VAのみ発音しているわけです(VA音色すべてがその構成になっています)。

ということで、VA音色にAWMとFMを加えて音作りすることが可能になっています。では、実際にAWMやFMのOLを上げ、かかっている音色を聞いてみましょう。



パラメーター一つずつの動きを理解し、エディット作業をするようにしましょう。



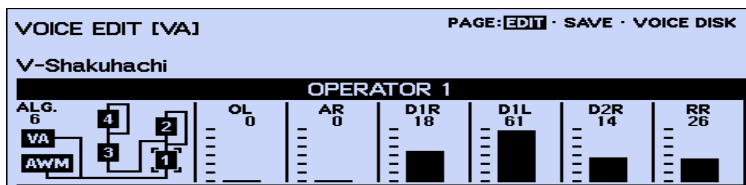
VA音源の特性上、音色によっては変化しにくい場合があります。



EL-9.00に搭載されているVAも同様に、VA+FM+AWMの組み合わせでできています。

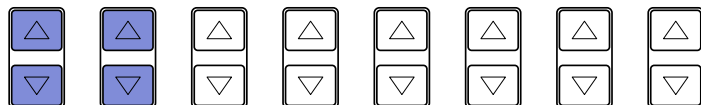
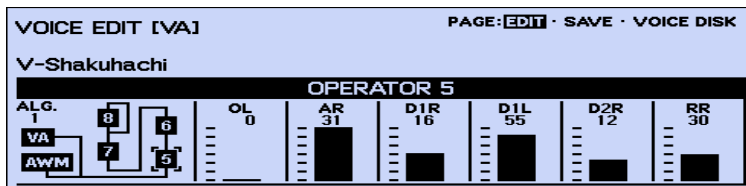
VA Shakuhachi (尺八)の音色を調べてみましょう。

1. EDIT状態にします。

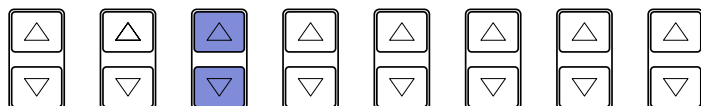
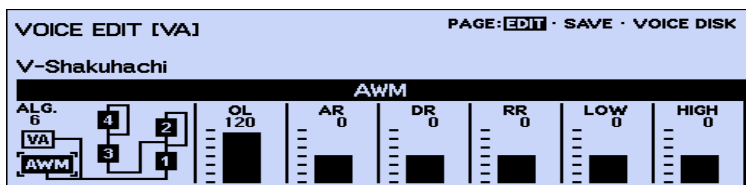


FMのキャリアであるOP1のOLは0に設定されています。

カーソルを動かしOP5に移動します。同じキャリアであるOP5もOLは0に設定されています。



2. カーソルをAWMにあわせると、これもOLは0で設定されています。AWMのOLを上げていってください。(VAとAWMは2つの画面で共通です。どちらで上げてても同じです)この時VAは反転させ、OFFの状態にしておきましょう。

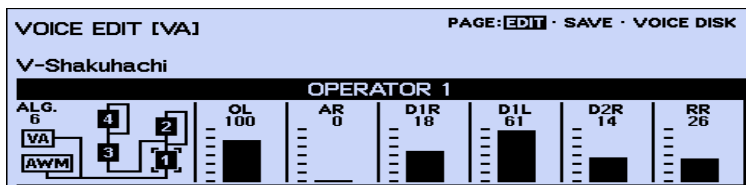


三味線の音色が発音されてきたことと思います。

AWMには三味線の音が隠れていたことがわかりました。

同様にFMのキャリアのOLを上げFMのウラ音色もチェックしてみましょう。

AWMとVAはOFF(反転)にし、それぞれのキャリアとなるオペレータ単独で聞いてみましょう。(VAとAWMは反転状態にする)



FMのキャリアであるオペレータ1、オペレータ5にはAWMと同じような、三味線に似たアタックの強い音色が入っていました。

この音色の場合はVAとAWMのみにおきましょう。

(FMのオペレータ1と5のOLは0に戻してください)

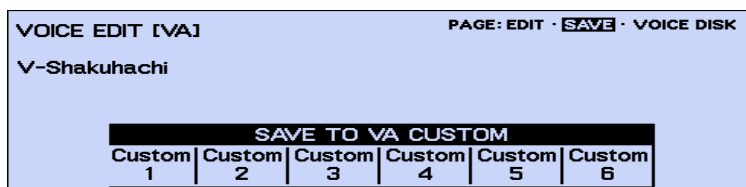
このように、1つの音色で2つの異なった音を発音させられることをうまく利用すると、とても効果的な演出が行なえます。



ON/OFF : カーソルを合わせ、一番左のデータコントロールボタン▲▼で、他のオペレータを一時的にOFF(反転)させることができます。

3. SAVE(保存)します。

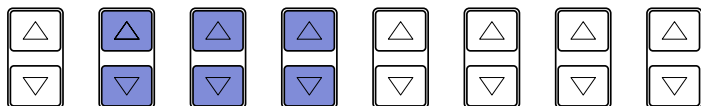
エディットしたユーザー音色はユーザーボイスとして保存することができます。



保存は通常のUSER VOICE(AWM+FM)にセーブするのではなく、VAのCUSTOM VOICE(カスタムボイス)にセーブします。

AWM+FMと同様、音色に名前を付けることも可能です。

操作方法や文字数は、AWM+FMの場合と全く同じです。



ここでは02 Shaku&Kotoと付けてみます。

VOICE NAME

全16文字の名前を付けることが可能です。

注！)名前は、頭にユーザーの番号をつけることをお勧めします。ボイスディスプレイ表示や、再度EDITした際に何番のユーザーボイスなのかが解らなくなる場合があるからです。

たとえば、単純にTrumpetという名前にすると、ボイスディスプレイでは **C** Trumpetという表示になります。このユーザーが何番のユーザーであるかが確認できません。

02.Trumpetなどと番号を入れておくと、 **C** 02. Trumpetという表示になり、カスタムユーザーボイス2のトランペット音色であることがすぐわかります。このことは、AWM+FM音色のユーザーボイスにも言えることです。番号をつけるように心がけましょう。

VAの場合、ユーザー音色(カスタムボイス)は6つまでです。

しかし、あらかじめ、このCUSTOMの箱にはすでに音色がセットされています。それらの音色はユーザー音色を上書きすると、消えてしまいます。使いたいCUSTOM音色がある場合は、それ以外の個所にセーブしてください。



CUSTOM音色を元に戻したい

初期化すればCUSTOM1~6すべて元に戻ります。初期化せずに、途中でいくつか元に戻りたい場合は、別ディスクに元のCUSTOM1~6をあらかじめセーブしておき、そのディスクの中から必要な音色を1つずつ読み込んで差し替えるとよいでしょう。

EL-900で再生可能

このVAのエディット音色はEL-900でも再生可能です。

EL-900でレジストレーションメモリーをセーブ(保存)し直すと、エディットしたパラメーターの値は0に戻ってしまいますが、音色自体は変わりません。

また、音色名も元に戻ってしまいます。セーブし直す場合は十分注意が必要です。

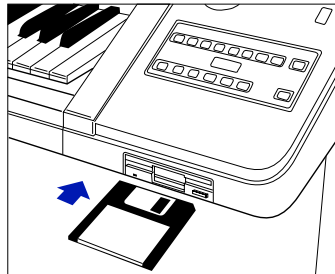
VOICE DISK

AWM+FM音色と同様に、別売のVOICE DISKを使い音色を供給することができます。使用法は既存のVOICE DISKと同じです。

1. 音色をEDIT(エディット)状態にする
2. ページボタンで VOICE DISKページへ進める



3. ディスク挿入



4. 音色選択(▲▼)
音を出しながらチェックしましょう。
5. SAVE(保存)
LEAD VOICE2 CUSTOM1～6のいずれかに保存します。



VOICE DISK

ヤマハミュージックメディアより発売。

Chapter 8

レジストシフト ネクストソング+(プラス)

従来のレジストシフト ネクストソングは、ユーザーボイスを読み込むことができません。

このネクストソング+ではユーザーボイスも読み込むことができるようになりました。

ユーザーボイスが16個では足りないときに大変便利です。

REGIST SHIFT MODE画面

REGIST SHIFT (FOOT SWITCH-RIGHT)				PAGE: MODE · EDIT	
MODE				SHIFT END	
OFF	SHIFT	JUMP	USER	STOP	
				TOP	
				NEXT SONG	
				NEXT SONG+	

USER EDIT画面

マークも+マークになっています

REGIST SHIFT (FOOT SWITCH-RIGHT)				PAGE: MODE · EDIT	
No.	1	5	10	(NEXT SONG+)	
REG. TOP	2	3	4	2	5
↑					
POSITION			DATA		
⏪	<	>	⏩	SET	INS.
				DEL.	CLEAR

注意点！

- 同じユーザーボイスはユーザーボイスナンバーも名前(ユーザーボイス名)も揃えましょう。
- 前ソングと違うユーザーボイスが、次のソングで同じユーザー番号に来る場合は、必ず名前を変更しましょう。

EL-900で再生すると、普通のNEXT SONGの状態になり、新しいユーザーボイスは読み込まれません。

使用機種を考慮し、注意して作ってください。



ソングをまたぐ時のユーザー音色を同じにしておけば、音の鳴りなおしはありません。

また、同じ音色でも、違う名前になっていると音は鳴りなおしてしまいます。

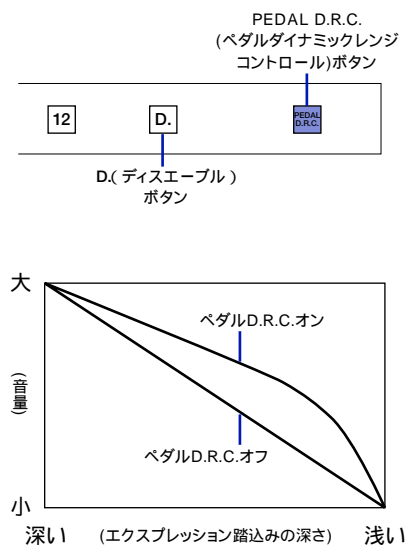


VAカスタムボイスも同様に読み込むことができますが、読み込むための時間がかかる為、発音しない場合が生じます。

Chapter 9

ペダルダイナミックレンジ コントロールボタン (PEDAL D.R.C.ボタン)

D.(ディスエーブル)ボタンの右隣にあるPEDAL D.R.Cボタンをオンにすると、エクスプレッションペダルを使用時に、ペダル鍵盤の音量変化が上/下鍵盤に比べてゆるやかになり、より自然な演奏表現が可能になります。



Chapter 10


MDRコピー機能の充実

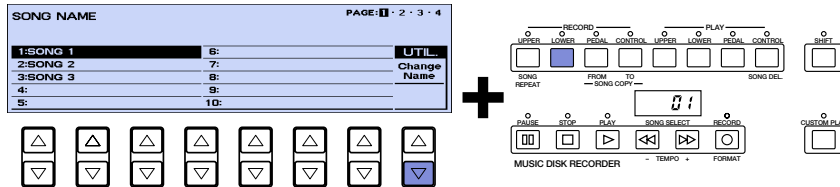
DISK COPY 2(ディスクコピー2)

MDRの機能はEL-900とほぼ同じ仕様です。ディスクコピー機能が追加されました。

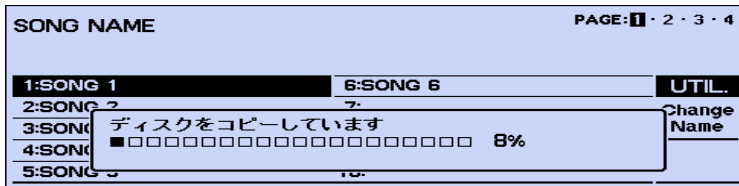
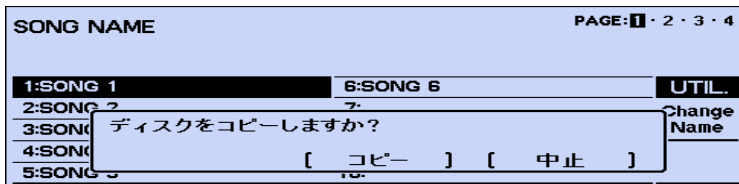
- ディスク内ソングコピー(EL-900同様)
- ディスク間ソングコピー(EL-900同様)
- ディスクコピー(EL-900同様/追加機能)

EL-900と同じディスクコピーの操作法でも差し支えありませんが、ディスクコピーの際は、以下のようなDISK COPY2機能の操作法をお勧めします。

1. コピー元のディスクを挿入。パネルディスプレイ右下の  ボタン On + MDR:LOWER(RECORDセクション)On

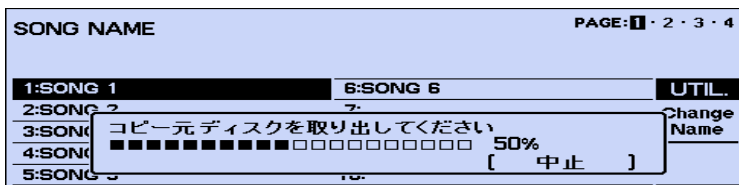


2. コピーのボタンを押すと、ディスクからデータを読み込みます。



50%でコピー元の収録は終了

3. コピー元のディスクを抜く



4. コピー先のディスクを挿入

SONG NAME		PAGE: 1 · 2 · 3 · 4
1: SONG 1	6: SONG 6	UTIL.
2: SONG 2	7	Change Name
3: SONG	コピー先ディスクを入れてください ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ 50%	[中止]
4: SONG		
5: SONG 5	10	

SONG NAME		PAGE: 1 · 2 · 3 · 4
1: SONG 1	6: SONG 6	UTIL.
2: SONG 2	7	Change Name
3: SONG	ディスクをコピーしています ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ 62%	[中止]
4: SONG		
5: SONG 5	10	

51%から100%まで行くと終了です。

SONG NAME		PAGE: 1 · 2 · 3 · 4
1: SONG 1	6: SONG 6	UTIL.
2: SONG 2	7	Change Name
3: SONG	ディスクをコピーしました !!	[中止]
4: SONG		
5: SONG 5	10	

エラー表示

● コピー元ディスクがライトプロテクトされていない

SONG NAME		PAGE: 1 · 2 · 3 · 4
1: SONG 1	6: SONG 6	UTIL.
2: SONG 2	7	Change Name
3: SONG	ディスクを書き込み不可にしてください ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ 0%	[中止]
4: SONG		
5: SONG 5	10	

対応: コピー元のライトプロテクトタブを記録不可にする

● コピー先ディスクがライトプロテクトされている

SONG NAME		PAGE: 1 · 2 · 3 · 4
1: SONG 1	6: SONG 6	UTIL.
2: SONG 2	7	Change Name
3: SONG	ディスクを書き込み可能にしてください ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ 50%	[中止]
4: SONG		
5: SONG 5	10	

対応: ライトプロテクトタブを記録可にする

● ディスクの種類が異なっている

(例：コピー元が2DDでコピー先に2HDを入れてしまった場合)

SONG NAME		PAGE: 1 · 2 · 3 · 4
1:SONG 1	6:SONG 6	UTIL.
2:SONG 2	7:	Change Name
3:SONG 3	2DDのディスクを入れてください	
4:SONG 4	[中止]	
5:SONG 5		

(例：コピー元が2HDでコピー先に2DDを入れてしまった場合)

SONG NAME		PAGE: 1 · 2 · 3 · 4
1:SONG 1	6:SONG 6	UTIL.
2:SONG 2	7:	Change Name
3:SONG 3	2HDのディスクを入れてください	
4:SONG 4	[中止]	
5:SONG 5		

対応：同じ種類のフロッピーディスクを用意する

● 読みとり失敗

SONG NAME		PAGE: 1 · 2 · 3 · 4
1:SONG 1	6:SONG 6	UTIL.
2:SONG 2	7:	Change Name
3:SONG 3	ディスクのコピーに失敗しました !!	
4:SONG 4	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ 58%	
5:SONG 5		

● コピー先がフォーマットされていない

SONG NAME		PAGE: 1 · 2 · 3 · 4
1:SONG 1	6:SONG 6	UTIL.
2:SONG 2	7:	Change Name
3:SONG 3	コピー先ディスクを入れてください	
4:SONG 4	ディスクのコピーに失敗しました !!	
5:SONG 5	[フォーマット]	

対応：[フォーマット]の下の▲ ▼ ボタンを押すと、ディスクのフォーマットがはじまります。

SONG NAME		PAGE: 1 · 2 · 3 · 4
1:SONG 1	6:SONG 6	UTIL.
2:SONG 2	7:	Change Name
3:SONG 3	ディスクをフォーマットしています	
4:SONG 4	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ 56%	
5:SONG 5		

その他対応：フォーマット済みのディスクを再挿入してもOK.

● その他の場合

SONG NAME		PAGE: 1 · 2 · 3 · 4
1:SONG 1	6:SONG 6	UTIL.
2:SONG 2	7:	Change Name
3:SONG 3	コピー先ディスクを入れてください	
4:SONG 4	ディスクのコピーに失敗しました !!	
5:SONG 5		

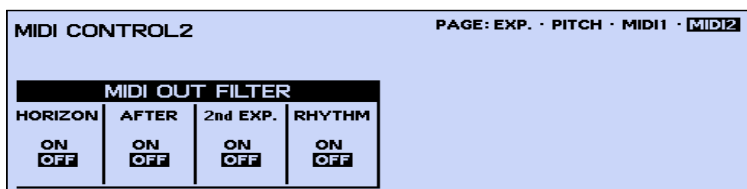
Chapter 11

メディアアウトフィルター (MIDI OUTフィルター)

外部のシーケンサーソフトを使用してエレクトーンの演奏を録音する時など、必要でないMIDIデータをカットすることができます。

受けてほしくないMIDIデータが出力されないよう、エレクトーンの本体側にMIDI OUTフィルターの機能を設けました。このため、MIDI CONTROLページがもう1ページ追加されています(MIDI CONTROL2ページ)。

水平タッチやアフタータッチなど常にMIDI出力されているデータが必要ない時は、通常MIDIを受ける側でカットしなければいけないのですが、一部シーケンサーソフトや外部音源など、カットする機能がない機器と接続する場合、このMIDI OUTフィルターを使用します。



● カットできる情報は

- HORIZON(水平タッチ情報)**
 レジストレーションの中でセットしていなくても、FSV鍵盤は水平タッチ情報を常にOUTします。MUなどはその情報を受け、常にピッチベンドがかかった状態の音になってしまうため、カットする必要があります。
- AFTER(アフタータッチ情報)**
 HORIZON同様、レジストレーションの中でセットしていなくても、FSV鍵盤はアフタータッチの情報をOUTしています。通常のアフタータッチの他、VAアフター(Control #16:コントロールナンバー16)も同時にOUTされます。必要のない場合はカットします。
- 2nd EXP.(セカンドエクスプレッション情報)**
 Control #4(コントロールナンバー4)としてOUTされます。コントロール4番として必要のない場合はカットします。
- RHYTHM(リズムスタート、ストップ情報)**
 エレクトーンはリズムのリアルタイムメッセージとしてFA(スタート)、FC(ストップ)をOUTしています。スタートストップの情報にシーケンサーが反応して作動することをさけたい場合、カットします。

以上4種類です。



MUシリーズ

ヤマハのXG音源ユニット。ELX-1mでは、MU50相当の音源が搭載されています。



VAアフター

VA音源にかかるアフタータッチでアップパーのみにかかります。



2nd EXP.の情報は通常のMIDIのピッチベンド情報とは異なります。



このMIDI OUTフィルターは、外部シーケンサーあるいは外部音源に対して有効で、MDRの録音の際には機能しません。

● 各ボイスのイメージ一覧

ページ / 音群	ボイス名	プリセット		イメージ
		フィート	エフェクト	
1ページ Upper/Lower ストリングス	Strings 1	8'	-	標準的な大編成のストリングスアンサンブル。
	Strings 2	8'	-	軽めのストリングス。ポップスにも合う。
	Strings 3	8'	-	小編成のストリングスアンサンブル。
	Strings 4	8'	-	弦をこする音がリアル。他の音色とのマッチングも良い。
	Strings 5	8'	-	コンソルディーノ(=弱音器つき)レガート奏向き。
	Strings 6	8'	-	透明感のある響きのストリングス。速いパッセージにも合う。
	Strings 7	8'	-	表情豊かなストリングス、ゆったりとした立ち上がりが特徴。
	Strings 8	8'	-	柔らかい音色で和音も美しいコンソルディーノ・ストリングス
	Pizz. Strings	8'	-	ピチカート奏法のストリングス。
	Trem. Strings	8'	-	トレモロ奏法のストリングス。
	Synth. Strs. 1	8'	Cele.	立ち上がりのやわらかいシンセストリングス。
	Synth. Strs. 2	8'	Sym.	明るいシンセストリングス。
Synth. Strs. 3	8'	Cde	やわらかい響きのシンセストリングス。	
2ページ Lead バイオリン	Violin 1	8'	-	いろいろなジャンルに使えるバイオリン。
	Violin 2	8'	-	立ち上がりのハッキリしたソロ向き。
	Violin 3	8'	-	明るめのフィドル。カントリーやジャズに合う。
	Violin 4	8'	-	暗めのシンセバイオリン風。タッチの変化が大きい。
	Violin 5	8'	-	深いビブラート(音色に固定)が特徴のバイオリン。和音で弾くのも良い。
	Pizz. Violin	8'	-	ピチカート奏法のバイオリンソロ。
	Cello	8'	-	立ち上がりの弦をこする音がリアルなチェロ。
	Kokyu	8'	-	胡弓。
3ページ Pedal コントラバス	Contra Bass 1	8'	-	標準的なコントラバス。
	Contra Bass 2	8'	-	迫力ある固めのコントラバス。オクターブユニゾンで鳴っている。
	Contra Bass 3	16'	-	リアルなコントラバスのソロ。
	Pizz. Bass	8'	-	ピチカート奏法のコントラバス。クラシック向き。
	Upright Bass	8'	-	ウッドベース。ジャズ向き。
4ページ Upper/Lower ブラス	Brass 1	8'	-	標準的なトランペット+トロンボーンアンサンブル。どちらかといえばクラシック向き。
	Brass 2	8'	-	ビッグバンド風ブラス。アタック感が派手。
	Brass 3	8'	-	オクターブで鳴るインパクトの強いブラス。ヒット的に使用してもよい。
	Brass 4	U16'/L8'	-	トロンボーンのアンサンブルブラス。
	Brass 5	8'	-	ポップスに合うタイトなオクターブブラス。
	Synth. Brass 1	8'	-	アタック感の強いシンセブラス。基本レジストレーション5で使用。
	Synth. Brass 2	8'	-	アナログ風のシンセブラス。メロディに使ってもよい。
	Synth. Brass 3	8'	-	ファットなシンセブラス。
Synth. Brass 4	8'	-	立ち上がりのピッチ感が特徴のファットなシンセブラス。	
5ページ Lower ホルン	Horn 1	8'	-	標準的なタイプ。遠近感の出やすいクラシック向きの音色。
	Horn 2	8'	-	ホルンユニゾン。やわらかい音色。アルペンホルン風。
	Horn 3	8'	-	ソロ用として使いやすいタイプ。
	Horn 4	8'	-	荘厳に鳴り響くホルンアンサンブル。
	Muted Horn	8'	-	ミュートホルン。(弱音)
6ページ Lead トランペット	Trumpet 1	8'	-	標準的なタイプ。クラシック向き。
	Trumpet 2	8'	-	渋さと張りのあるジャズトランペット。
	Trumpet 3	8'	-	甘い音色が特徴のロマンティックなトランペット。
	Trumpet 4	8'	-	アタックにクセのある音色。ラテンなどに合う。
	Trumpet 5	8'	-	シンセトランペット。ややコミカルなサウンド。
	Trumpet 6	8'	-	華やかなソロトランペット。
	Muted Trp.	8'	-	ミュートトランペット。(ハーモンミュート)
	Trombone 1	U16'/L8'	-	甘めのトロンボーン。レガート奏向き。
	Trombone 2	U16'/L8'	-	明るくて軽めのトロンボーンソロ。速いフレーズにも合う。
	Trombone 3	U16'/L8'	-	張りのある音色が特徴のトロンボーン。
	Muted Trb.	U16'/L8'	-	ミュートトロンボーン。(カップミュート)
	Flugel Horn	8'	-	フリューゲルホルン。
	Euphonium	U16'/L8'	-	やわらかい音が特徴のユーフォニウム。
7ページ Pedal チューバ	Tuba	16'	-	チューバ。ソロとしても使える。
	Timpani 1	8'	-	ティンパニ。
	Timpani 2	8'	-	柔らかめのマレットで表現豊かなティンパニ。
	Timpani Roll	8'	-	ティンパニロール。
8ページ Lead フルート	Flute 1	8'	-	標準的なフルートソロ。
	Flute 2	8'	-	透明感あるフルートソロ。どちらかといえばレガート奏向き。
	Flute 3	8'	-	アタックが特徴のジャズ・フルート。(ビブラートは音色に固定)
	Flute 4	8'	-	深みのあるビブラートが特徴のクラシカル・フルート。(ビブラートは音色に固定)
	Piccolo	4'	-	ピッコロ。
	Yokobue	4'	-	明瞭な響きの篠笛。
	Recorder	4'	-	たて笛。(スベリオ by YAMAHAともいう。)
	Ocarina	4'	-	素朴な響きのオカリナ。
	Pan Flute	8'	-	パンフルート。

* U16'/L8'はアッパーでは16フィート、ロウワーでは8フィートに設定されていることを意味します。

ページ / 音群	ボイス名	プリセット		イメージ
		フィート	エフェクト	
8ページ Lead フルート	Shakuhachi	8'	-	息音がリアルな尺八。
	Whistle	4'	-	口笛。
9ページ Lead オーボエ	Oboe 1	8'	-	甘めのオーボエ。
	Oboe 2	8'	-	タンギングに特徴のある丸い感じの音色。速いフレーズにも合う。
	Oboe 3	8'	-	速いフレーズに合うオーボエ。(ビブラートは音色に固定)
	Oboe 4	8'	-	クラシック向きの表現豊かなオーボエ。
	English Horn 1	8'	-	イングリッシュホルン。(コーラングレー)
	English Horn 2	8'	-	リード感が引き立つ音色のイングリッシュホルン。
	Bassoon 1	U16'/L8'	-	レガート奏向き。(標準)
	Bassoon 2	U16'/L8'	-	スタカート奏向き。
10ページ Upper/Lower クラリネット	Bassoon 3	U16'/L8'	-	低音域まで豊かな響きのバスーン。
	Clarinet 1	8'	-	標準的なクラリネット。
	Clarinet 2	8'	-	ジャズやポップスに合うクラリネットソロ。
	Clarinet 3	8'	-	甘い感じの音色で表現豊かなクラリネット。
	Bass Cla.	8'	-	音が太く深みのあるバスクラリネット。
11ページ Upper/Lower サクソフォン	Synth. Cla. 1	8'	-	広がり感のあるシンセクラリネット。
	Synth. Cla. 2	8'	-	立ち上がりに特長があるシンセリード。
	Saxophone 1	U16'/L8'	-	標準的なタイプ。アルトサクソフォンのサウンド。
	Saxophone 2	U16'/L8'	-	タンギングの非常に強い個性的なテナーサクソ。
	Sopra. Sax.	8'	-	ソプラノサクソ。
	Sax. Ens. 1	U16'/L8'	-	やわらかいトーン。クラシック向き。
	Sax. Ens. 2	U16'/L8'	-	ビッグバンド風サクソセクション。
	Synth. Sax.	8'	-	中低域の厚みの特長のウインドシンセ。
	Synth. Lead 1	8'	-	ソフトなアナログ風シンセリード。
	Synth. Lead 2	8'	-	アタック感のあるクリアなシンセリード。
	Synth. Lead 3	4'	-	ハスキーなノイズリード。
	Synth. Lead 4	8'	-	デジタル風シンセリード。
	Synth. Lead 5	8'	-	4thで重ねた太いシンセリード。
Synth. Lead 6	8'	-	立ち上がりのピッチに特徴があるコミカルなシンセリード。	
Synth. Lead 7	8'	-	シンセベース風な音色のシンセリード。	
12ページ Upper/Lower トウティ	Tutti 1	8'	-	ストリングスユニゾン + 木管アンサンブル。
	Tutti 2	8'	-	ストリングスユニゾン + プラス。
	Tutti 3	8'	-	ブラス中心。クラシックや吹奏楽にもよい音色。
	Tutti 4	8'	-	ビッグバンド。弱く弾くとサクソのみ、強く弾くと1オクターブ上のプラスが加わる。
	Tutti 5	8'	-	吹奏楽などにより木管アンサンブル。音域によって楽器が異なる。
	Tutti 6	8'	-	木管五重奏風。
	Tutti 7	8'	-	金管アンサンブル。
	Tutti 8	8'	-	華やかな金管アンサンブル。
	Tutti 9	8'	-	壮大な弦楽アンサンブル。
	Tutti 10	8'	-	木管アンサンブル。
13ページ Upper/Lower コーラス	Chorus 1	8'	-	女性 Ah。
	Chorus 2	8'	-	男性 Wh。シンセ的な音作りになっている。
	Chorus 3	8'	-	混声合唱。
	Chorus 4	8'	-	美しい響きの混声合唱。Wh。
	Chorus 5	8'	-	スカット風のボーカルアンサンブル。
	Chorus 6	8'	-	チャペル向きの混声合唱。
	Chorus 7	8'	-	リアルな大合唱。
	Chorus 8	8'	-	ゴスペル クワイア。
14ページ Upper ハーモニカ	Vocal	8'	-	クセの強いソロボーカル。Ah。
	Harmonica 1	8'	-	標準的なタイプ。
15ページ Upper/Lower オルガン	Harmonica 2	8'	-	ソロハーモニカ。プレスなどに合う。
	Organ 1	8'	-	小規模なパイプオルガン。8'。
	Organ 2	8'	-	大規模なパイプオルガン。フルカブラー。
	Organ 3	8'	-	パイプオルガンナザール音栓ミックス。8' + 2 2/3'。
	Organ 4	8'	-	足踏みオルガン風。懐かしいサウンド。
	Jazz Organ 1	16'	Chor.	(16' + 8' + 5 1/3') 口向き。
	Jazz Organ 2	16'	Trem.	(16' + 8' + 2') ブロックコート向き。
	Jazz Organ 3	16'	Trem.	(16' + 1 3/5' + 1 1/3' + 1') 高い倍音入り。クラスター奏法により。
	Jazz Organ 4	16'	Trem.	太くノイズなジャズオルガン。
	Pop Organ 1	8'	Chor.	(8' + 4' + 2 2/3') ジャズオルガンのLK向き。ブライト。
	Pop Organ 2	8'	Chor.	マルチユース。LK向き。落ちついた音色。
	Theat. Organ 1	8'	Sym.	(8' + 4') 立ち上がりが遅いのがシアターオルガンの特徴。
	Theat. Organ 2	8'	-	(16' + 8') 立ち上がりが遅いのがシアターオルガンの特徴。
	Accordion	8'	-	アコーディオン。立ち上がり遅め。
	Bandoneon	8'	-	バンドネオン。インシャルタッチで音の立ち上がりの変化がつく。

ページ /音群	ボイス名	プリセット		イメージ
		フィート	エフェクト	
16ページ Pedal オルガンベース	Organ Bass 1	8'	-	8'系を中心としたコンビネーションオルガンベース。
	Organ Bass 2	16'	-	パイプオルガンベース。標準タイプ。ORGAN 1と合う。
	Organ Bass 3	16'	-	16'中心。ジャズオルガンに合う。
	Organ Bass 4	16'	-	パイプオルガンベース。ORGAN 1と合う。フルカバー。
17ページ Upper/Lower ピアノ	Piano 1	8'	-	マルチユースのグランドピアノ。
	Piano 2	8'	-	ポップスに合う明るい音色のピアノ。
	Honkytonk	8'	-	ホンキートンクピアノ(調律を狂わせたピアノ)。
	Elec. Piano 1	8'	Cele.	DX7風エレピ。
	Elec. Piano 2	8'	Cele.	ファットなオールドスタイルのエレピ。ハンマー音に特徴。
	Elec. Piano 3	8'	-	クリスタルな輝きを持ちつつ深みのあるエレピ。
	Elec. Piano 4	8'	-	華やかで芯のある響きのエレピ。
	Harpsichord	8'	-	チェンバロ。
	Clavi.	16'	-	ファンキーなクラビ。
Clavichord	8'	-	おちついた響きのクラビコード。	
18ページ Upper/Lower ギター	Guitar 1	U16'/L8'	-	フォークギター。スチール弦。
	Guitar 2	U16'/L8'	-	フルアコースティックジャズギター。
	Guitar 3	U16'/L8'	-	クラシック。ガット弦。ボサノバのバックギンなどにもよい音色。
	12 Str. Guitar	U16'/L8'	-	少し派手な響きがある12弦クラシカルギター。
	Banjo	8'	-	バンジョー。カントリーやディキシーランドに。
	Mandolin	8'	Cele.	マンドリン。自動的にリピートする。
	Sitar	8'	-	シタール。低音の弦と中高音域の響きの違いが特長。
	Shamisen	8'	-	三味線。
	Elec. Guitar 1	U16'/L8'	-	バックギン向き。シングルコイルマイクのソリッド。
	Elec. Guitar 2	U16'/L8'	-	ソロ向き。オーバードライブがかかったタイプ。
	Muted Guitar	U16'/L8'	-	ミュート奏法によるギター。
	Dist. Guitar	U16'/L8'	-	ディストーションギター。
	Harp	8'	-	ハーブ。グランドハーブ。
	Steel Guitar	8'	-	ハワイアンギター。グライドを使うと効果的。
	Koto	8'	-	お琴。
Taisho Koto	4'	Cele.	大正琴。	
19ページ Upper/Lower ピブラフォン	Vibraphone	8'	-	ビブラフォン。
	Glocken	4'	-	グロックンシュピール。
	Celesta	4'	-	チェレスタ。
	Music Box	4'	-	アンティークなオルゴールサウンド。
	Marimba	8'	-	コンサートマリンバ。
	Xylophone	4'	-	イニシャルタッチによる変化が大きいシロホン。
	Chime	4'	-	チャイム。
	Synth. Chime	8'	Cele.	かわいいキラキラした音。
	Steel Drum	8'	-	スチールドラム。
20ページ Pedal エレキベース	Elec. Bass 1	8'	-	マルチユースのフィンガードベース。
	Elec. Bass 2	16'	-	スラップベース。いわゆるチョッパーベース風。タッチ感強い。
	Elec. Bass 3	16'	-	ピックを使って弾いたアタック感の強いベース。
	Elec. Bass 4	16'	Cele.	フレットレスベース。ソロとしても使える。
	Elec. Bass 5	16'	-	表現力豊かなエレクトリックベース。
	Synth. Bass 1	16'	-	シンセベース。持続音。
	Synth. Bass 2	16'	-	シンセベース。立ち上がりのハッキリした音。
	Synth. Bass 3	16'	-	シンセベース。ポヨンポワン?(タッチによって変化)
	Synth. Bass 4	16'	-	レゾナンスの効いたシンセベース。
	Synth. Bass 5	16'	-	長い音符の変化を楽しみながら演奏するのに向くシンセベース。
21ページ Upper/Lower コズミック	Cosmic 1	4'	-	マルチユースなディケイタイプ。基本レジスト4のUK。
	Cosmic 2	8'	-	チェレスタの低音のイメージ。基本レジスト4のLK&PK。
	Cosmic 3	8'	-	プラス系。基本レジスト5のLK。
	Cosmic 4	8'	-	ディケイタイプ。ファンタスティック。
	Cosmic 5	8'	-	フィードバックつき宇宙音のイメージ。
	Cosmic 6	8'	-	シンセプラス風。
	Cosmic 7	8'	-	フィードバックつきボーカル風。
	Cosmic 8	8'	-	フィードバックつきディストーション風。
	Cosmic 9	8'	-	独特のフィードバックつきディケイタイプ。
	Cosmic 10	8'	-	透明感のあるシンセパッド。
	Cosmic 11	8'	-	デジタル風シンセパッド。
	Cosmic 12	8'	-	コーラス風シンセパッド。
	Cosmic 13	8'	-	立ち上がりの緩やかなSFXサウンド。音色変化が激しい。
	Cosmic 14	8'	-	幻想的なデジタルオルゴール風サウンド。
	Cosmic 15	8'	-	民族的な香りのするシンセパーカッション。
	Cosmic 16	16'	-	SFXサウンド。様々な音が複雑な綾を織りなす。

ページ	ボイス名	プリセット		ホリゾンタル	推奨音域 *1	イメージ
		フィート	エフェクト			
VAアコースティック	V-Flute	8		Pitch	G2 - A6	ノイズなフルート。高域では音がひっくり返る。タッチトーンの値を増やし鍵盤を押し込むとフラッター効果が得られる。
	V-Oboe	8		Pitch	C3 - F5	タッチでのダイナミックレンジが広いオーボエ。
	V-Clarinet	8		Pitch	D2 - F5	ピアノニッシモでは息の音、フォルティッシモではピッチが少し下がりが明るめの音色になる。
	V-Sopra. Sax.	8		Pitch	A [♯] 2 - D5	丸い感じの音色のソプラノサックス。
	Alto Sax.	8		Pitch	D [♯] 2 - G4	明るめでポップス向きのアルトサックス。
	Tenor Sax.	16		Pitch	A [♯] 2 - C4	ピアノニッシモでは少しやわらかめ、フォルティッシモでは明るめの汎用的なテナーサックス。
	Breath Sax.	16		Pitch	A [♯] 2 - C4	息の音が多くやわらかで、スローな曲向きのテナーサックス。
	V-Trumpet	8		Embouchure *2	A [♯] 2 - A [♯] 4	ソフトなトランペット。ホリゾンタルでリップスライドができる。
	V-Trombone	16		Embouchure	E1 - G3	左右に鍵盤を揺らすとリップスライドができる。アフタータッチで割れた感じになる。
	V-Shakuhachi	8		Embouchure		アフタータッチで息の音が増え、タッチトーンの値を増やしさらに押し込むと音がひっくり返る。
	V-Kokyu	8		Pitch		弱く弾くとかすれた音になる。
V-Sitar	8		Pitch		強く弾くと音がひっくり返る。	
VAバーチャル	Pan Pipe	8		Pitch	E2 - G5	パンフルートのような音色。タッチトーンの値を増やし鍵盤を押し込むとフラッター効果が得られる。
	Air Reed	8		Pitch	A2 - C5	オーボエのリードをサックスにつけたような楽器。
	Thin Reed	8		Pitch	E2 - G5	クラリネットのマウスピースをフルートにつけたような楽器。
	Grass Reed	4		Pitch	E2 - G5	バスのリードを金管楽器につけたような楽器。アフタータッチでピッチが変化する。
	Soft Reed	8		Embouchure	A2 - G5	クラリネットのマウスピースを金管楽器につけたような音色。
	Buzz String	8		Pitch	A2 - F5	木管楽器を弓でこすったような音色。
	Bow Strings	8		Pitch	E1 - E6	人工的に合成したような弦楽器。
	Waspy Horn	8		Embouchure	C1 - G4	金管楽器のマウスピースを木管楽器につけたような音色。アフタータッチでミュートの具合が変えられる。また、ホリゾンタルでトランペットと同様の効果が得られる。
VAエレクトロニック	Jazz Guitar	16		Pitch	E1 - E5	マイルドで温かみのある、ジャズテイストあふれるエレクトロニックギター。
	Picked Guitar	16		Pitch	E1 - E5	ビックで弾いたギターの音色。
	Saw Lead	8		Pitch	C1 - C5	汎用的なリード音色。アフタータッチでフィルターの変化がつけられる。
	Edge Lead	16		Pitch	C1 - C4	アタック部分が鋭く、シンセベース向けの音色。アフタータッチでフィルターの変化がつけられる。
	Dist. Lead	16	Dist.	Pitch	G1 - C5	ディストーションのかかったリード音色。タッチトーンの値を増やし強く押し込むと音程が1オクターブ上がる。
	Woody Lead	8		Pitch	C2 - G5	木の質感をもつリード音色。
	Muted Lead	8		Pitch	C2 - C5	ワウ効果をもつリード音色。アフタータッチでワウの効果が変えられる。
	Talken Lead	16		Pitch	C1 - C5	話をしているようなリード音色。タッチトーンの値を増やしアフタータッチでハムノイズのような音ができる。
VAカスタム	Custom 1	16		Pitch		パイプの開口部を手のひらでたたいたような音色。
	Custom 2	8		Embouchure		金属板をこすったような音色。アフタータッチでこすり方の強さが変わる。
	Custom 3	8		Pitch		金属板を木片でたたいたような音色。イニシャルタッチで木片の硬さが変わる。
	Custom 4	8		Pitch		弱く弾くと風の音、鍵盤を押し込むとディストーションギターのような音ができる。
	Custom 5	8		Pitch		ジェットノイズ風の音色。鍵盤を押し込むとリード音ができる。
	Custom 6	8		Pitch		金属同士をぶつけたような音色。

*1 各アコースティック楽器には、それぞれの発音域があります。その発音域を越えて演奏を行うと、音楽的ではない(現実的にはあり得ない)音になりますので、ご注意ください。

*2 Embouchure (アンブシュア)とは、管楽器の場合、口の締めつけ方や口唇の動き、息の強さなどにあたります。また、弦楽器の場合、弓を弦にあてる強さにあたります。なお、Pitch (ピッチ)は、管の長さや弦の長さを変えることによって音程を変化させる効果です。どちらも音程を変化させる効果を持っていますが、アンブシュアは音を出すきっかけとなる部分をコントロールする機能であり、ピッチは管や弦の振動で音が鳴る部分での音程をコントロールする機能です。

ヤマハ株式会社

エレクトーンに関するあらゆる質問にお答えします。

エレクトーンインフォメーション

営業時間:月～金 10:00～12:00 13:00～17:00

フリーダイヤル  0120-186-808



この取扱説明書は
大豆油インクで印刷しています。



この取扱説明書は
エコマーク認定の
再生紙を使用しています。



この取扱説明書は
エコパルプ(ECF:無塩素系漂白パルプ)
を使用しています。

インターネットホームページ
<http://www.yamaha.co.jp/>